

洋上研修船

第45回 JC青年の船 「とうかい号」



TOKAIGO

SINCE 1974

3つの誓い

- 一、私たちは、自覚と責任ある行動をします。
- 一、私たちは、思いやりと感謝の気持ちを大切にします。
- 一、私たちは、何事にも積極的に挑戦します。

CONTENTS

1. プロローグ	3
団長挨拶	4
静岡ブロック協議会会長挨拶	5
岐阜ブロック協議会会長挨拶	6
愛知ブロック協議会会長挨拶	7
三重ブロック協議会会長挨拶	8
監査担当役員挨拶	9
会計監査人挨拶	12
本部長挨拶	13
財務特別部長挨拶	14
内地本部長挨拶	15
チームリーダー部長挨拶	16
研修部長挨拶	17
生活部長挨拶	18
国際交流部長挨拶	19
企画部長挨拶	20
広報記録部長挨拶	21
事務局長挨拶	22
基本方針	23
スローガン並びにシンボルマーク	24
45 船までの歩み	26
組織図	28
航海全航図	29
全航スケジュール	30
運航中会議体系	32
2. 出航式・帰港式のご案内（歓送迎委員会）	33
歓送迎委員会からのご案内	34
出航式タイムスケジュール	38
出航式タイムスケジュール（雨天時）	40
帰港式タイムスケジュール	41
3. 研修のご案内（研修委員会）	43
研修委員会からのご案内	44
研修方針	45
研修フローチャート	47
4. 記録・広報活動について（広報記録委員会）	49
広報記録委員会からの依頼事項	50
5. 船内での活動（企画委員会）	53
企画委員会からのお知らせ	54
6. 寄港地での活動（国際交流委員会）	63
国際交流委員会からのご案内	64
7. 乗船にあたっての準備（生活委員会）	73
乗船にあたっての準備	74
客室見取り図及び使用可能な備品	82
所持品リスト	83
8. その他	85
デッキプラン	86
テーマソング「HERO」	88

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

プロローグ 1

挨拶

基本方針

スローガン並びにシンボルマーク

45 船までの歩み

組織図

航海全航図

全航スケジュール

運航中会議体系



TOKAIGO
SINCE 1974

団長挨拶

団 長 細野 勝雅



我々が住まう東海地区は、豊かな自然環境、そして伝統文化に恵まれ、豊富な農産物、独自の食文化など多様な魅力も併せもち、自動車産業や航空宇宙産業など日本有数の技術力・開発力による強い産業集積地として、日本の中心に位置する交通アクセスの良さからモノづくりの一大拠点として成長してまいりました。しかし、2040年には少子化や人口流出に歯止めがかからず、49の自治体が消滅可能性都市であることから地方の過疎化が懸念され、南海トラフ巨大地震などの予測不能な自然災害の発災リスクを抱える地域でもあります。このような多くの社会問題や災害という未曾有の国難に対して、自分事ととらえ、先人たちのように団結し乗り越えていかなければなりません。

1974年より東海地区最大の人財育成事業として45年の長きにわたり、連綿と受け継がれ実施されてきたJIC青年の船「とうかい号」は洋上で研修を行う非日常的な空間の中で、多くの青年たちが出逢い、約1週間の研修とグループワークを通して、国家や地域に対する誇りや愛着をもつことで、万物に感謝するという「和」の精神性を醸成し、祖先や親を敬い、他を慮る道德心の大切さや、政策を見極める力を身に付けた主権者意識について学んで頂き、海外寄港地では日本と相手国の対話を推進し国際交流を重ね友情を育み、お互いを尊重し合う未来志向の関係を構築することで、今後の地域、国際社会に於いての役割と責任を果たしていく、明るい未来につながる扉を開く人財を育成します。また、団体行動の中で芽生えたチームワークやリーダーシップは各企業や地域・団体においての活躍に大きく繋がります。

この事業は多くの企業や地域の皆様のご協力がなければ成り立ちません。このような機会をくださったすべての人に感謝し、「とうかい号」を経験したすべての人が大いなる成長を遂げ、地域発展のために活躍できるよう全力で最高の45船を創り上げて参ります。

ブロック会長挨拶

静岡ブロック協議会会長

岡島 佑樹



ようこそJ C青年の船「とうかい号」へ。団員の皆様の乗船を心より歓迎するとともに、その決意に心より感謝申し上げます。皆様は、これから始まる航海へ向け、期待と不安に胸が高鳴っていることと思います。限られた8日間の研修と船上生活、そして寄港地での国際交流から日常では得られない経験と学び、静岡・愛知・岐阜・三重の東海4県から集う多くの仲間との出会いと感動が待っています。

第45回J C青年の船「とうかい号」は、「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海(たび)～」をスローガンに掲げ、台湾へ向け出航致します。様々なプログラムから自身を見つめ直し、主体性と協調性を養っていく中で、相互理解の大切さを学んでまいります。そして、「和」の精神性や他を慮る心、国や地域に対する主権者意識を育てていただくとともに、夢や目標を持つことで、どんな環境においても失敗を恐れず前向きに挑戦できる人財へ成長していただきます。また、寄港地では、現地の人々との交流だけでなく、その文化や習慣に直接触れ合うことで、自国や地域への愛着や誇り、他国との相互理解と友好を深めることができます。

そこで、乗船される団員の皆様の一つアドバイスをさせていただきます。何事においても自らが率先して行動することが大切です。何かを得たいのなら、より高みへ成長したいのなら、待ってはいけません。積極果敢に挑戦することで、そこから得られる経験や学びは、何倍にもなって自身へ還ってきます。そして、生まれた大きな感動や多くの友情は、掛け替えのないものとなります。一瞬一時を無駄にすることなく、昨日より今日、今日より明日へと、前の自分を超えて下さい。

結びに、本事業に関わるすべての方に感謝申し上げますとともに、航海が終わりを迎えるとき、団員の皆様が自国や地域への誇りを抱いた未来の扉を開く人財として成長していることを心からご祈念を申し上げ挨拶とさせていただきます。

ブロック会長挨拶

岐阜ブロック協議会会長

酒井 健吉



ようこそ、第45回J C青年の船とうかい号へ！！この「とうかい号」は1974年から長きに亘り先輩諸兄から熱き想いを受け継いで来た、青年会議所の最大の事業であります。この「とうかい号」への乗船誠にありがとうございます。そして、おめでとうございます。この「とうかい号」は、乗った人しかわからない感動を味わうことができ、最幸な8日間となることをお約束致します。

本年度は、『無限の可能性への挑戦 ～未来の扉を開く航海（たび）～』をスローガンに掲げ、明るい未来の扉を開ける人財を育成し、地方創生を実現するために、他を慮る道德心と国や地域に対する主権者意識を芽生えさせる船内研修及び国際交流を行い、前向きに挑戦できる人財を増やすことを目的に台湾は台中に出航致します。

結びに、一般団員をご輩出賜りました企業、ご家族の皆さま、また東海地区内82会員会議所の皆さまのご理解に心より感謝申し上げます。全ての乗船者の実り多き研修船となる事を心よりご記念申し上げ岐阜ブロック協議会会長のご挨拶とさせていただきます。

ブロック会長挨拶

愛知ブロック協議会会長

浅野 弘義



第45回J C青年の船「とうかい号」は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海」をスローガンに、寄港地である台湾に向けて出航致します。本船は、1974年第1回の出航以来、東海エリアの地域の未来を担う青年の育成を目的とし、毎年洋上研修船として出航を重ね、本年度で45回目の出航となります。

「とうかい号」においては、洋上の船内という、日常から隔離された非日常的な空間で、東海エリアの様々な地域から乗船した仲間と共に学び、助け合い、切磋琢磨し合いながらの8日間を過ごすこととなります。

仲間との集団生活の中で、目的意識を共有し、協力して課題に向かい達成していくことで、知識を得ることのみならず、チームワークの重要性、友情の大切さを改めて認識していただくとともに、組織の中において、自分を変えること、それにより他人をどのように変えていくことができるのか、変革した他人に、自らが、また組織がどのように影響を受けていくのか、その相互作用を経験していただくことで、新たな価値観を身に付け、地域の未来を担う逞しい人財へと成長していくことができます。

乗船を通じて、「和」の精神性や相手を慮る心、国や地域に対する主権者意識を持ち、また、自らを変え、どのような逆境においても失敗を恐れず前向きに挑戦できる人財へと成長された皆様が、乗船を通じて培われた生涯の仲間とともに、下船後もそれぞれの地域を支える人財としてご活躍いただけるよう、東海地区協議会として最大限支援して参ります。

結びとなりますが、第45回J C青年の船「とうかい号」の乗船に、勇気ある一步を踏み出していただいた乗船者の皆様、そしてご輩出いただいております東海地区内の輩出企業の皆様に謹んで御礼申し上げます。航海の安全と、乗船者の皆様が、多くの学びを得て、地域を担い、未来を創造していくため、志高く挑戦する人財へと成長されることを祈念致します。

ブロック会長挨拶

三重ブロック協議会会長

山川 武志



「とうかい号」の乗船料は、いくらか知っていますか？
「とうかい号」へ一般乗船される方に対して、私が必ずお聞きする質問です。

今年は乗船料として286,000円をいただいています。もしかすると、自分の月収より多いという方もみえるかもしれません。「とうかい号」では、このお金をたった8日間で使い切ります。286,000円を日割りすると1日あたり35,750円。言い換えると会社から35,750円の上乗せ給料が、あなた「だけ」に支給されています。

大切なのはお金だけではありません。急速な少子高齢化の進展により、どの会社も慢性的な人手不足に陥っており、余剰員や代替要員を雇入れできる会社は多くありません。あなたが「とうかい号」に参加している間も、会社は変わらず動き続け、本来ならば、あなたがすべき仕事を会社の方が総出でカバーしてくれています。

「とうかい号」は様々な研修や国際交流、船上の集団生活を通じて、あなたに気づきや学びの機会を提供してくれます。これら一つひとつの機会を逃すことなく自らを成長させることは当たり前ですが、その自己成長を大いに貢献させなければならないのは「とうかい号」乗船という機会を与えてくれた会社です。常に「この気づきや学びを会社でどう活かそうか？」ということを念頭に「とうかい号」に参加いただければと思います。

「私は会社から参加していない！」という方は、もっと大変です。自らの選択で自分のお金、そして時間を使用するわけですから、何に役立てるか目標感をもって参加しなければ、お金も時間もただただ無意味に浪費してしまうことになってしまいます。お金だけでなく時間も有限です。時間の有限性に気づいたとき、人は自らの可能性を開花させ、無限の力を発揮することができます。「とうかい号」があなたの未来にとって素晴らしいものになることを祈念しております。

監査担当役員挨拶

監査担当役員 池谷 裕文



第45回J C青年の船「とうかい号」へようこそ。団員の皆様の乗船に心より感謝申し上げます。本年は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海（たび）～」をスローガンに台湾は台中へ向け出航いたします。輩出企業様の期待、団員の皆様の期待と不安と共に大海原へと飛び出す「とうかい号」は乗船者にとって大きな成長の機会と捉えていただきたいと存じます。東海地区内から集う多くの同志と出会い、変化を受け入れ、何事にも恐れず挑戦していく「和」の精神性を持った未来を担う人財へと飛躍されますことを期待いたします。

「とうかい号」では洋上の船内という非日常の空間の中で8日間という限られた時間を多くの仲間と共に刺激を受けながら過ごし、様々なプログラムから自分を見つめ直し、主体性と協調性を養い相互理解の大切さを学んでまいります。集団生活を通じて、道徳心や縁というつながりを大切にし、「和」の精神性や他を慮る道徳心の大切さ、国や地域に対する主権者意識を育てていただくと共に夢や目標を明確にし、変化を恐れず何事にも前向きに挑戦できる人財へと成長していただきます。また、寄港地における国際交流では現地の文化や習慣に直接触れ合うことで、日本の先人たちが他国の価値観を認め敬い、長所を取り入れてきた文化を再認識し、自国や地域への誇りや愛着、自国と相手国の未来志向の関係を深めることができます。

この「とうかい号」での経験は人生においてかけがえないものとなります。下船時には乗船者の皆さんが継続的に企業や地域において活躍できる、未来の扉を開く人財として成長していることを心からご祈念申し上げ、監査担当役員として、円滑な運営・活動を遂行するための助言、指導を行い、全団員の安全な航海と十分な研修活動のため全力でサポートさせていただくことをお誓い申し上げます。

監査担当役員挨拶

監査担当役員 金和 未穂



東海地区協議会の優れた研修事業として誇り高き歴史を紡いできたJ C青年の船「とうかい号」は1974年からスタートし本年度第45回という節目の年を迎えます。これまで延べ2万6千名以上の多くの青年男女が洋上研修を通じて、時代に即した学びと多様な経験を体得し見識を広げ、未来永劫の友情を育んできました。そして研修で得たすべてを下船後に地域に還元し、活躍することで実行力をもった次世代のリーダーとしてそれぞれの住み暮らすまちの発展並びにこの東海地区の発展に繋げて参りました。

私たちが住み暮らす東海地区は悠久の歴史と伝統文化が色濃く残る美しい環境と日本経済を牽引する産業集積地ではありますが人口減少や自然発生災害のリスクを抱えるなど様々な問題が山積しています。誰もが予測できない波があらゆる面から押し寄せ混迷を極める時代に突入していますがいつの時代もその荒波に屈することなく英知と勇気と情熱をもって果敢に挑戦し地域社会に変革を齎すのは私たち青年の使命であると考えます。

本年度は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海～」をスローガンに掲げ、寄港地は台湾 台中市を目指し出港致します。船内では研修方針、行動指針共に3つの柱を設け8日間という限られた時間と洋上という特別な空間で過ごしますが、この長くも短い8日間という時間が皆様の人生において素晴らしい価値ある尊い時間になり、この経験すべてがまだ見ぬ未来の扉を開く一歩となりこれからの無限の可能性へ挑戦する原動力になることを強く確信しております。

結びとなりますが、各企業様からお預かりした大切な一般団員の安全と成長をお約束すると共に事業構築にあたり俯瞰的な視野をもってサポートし本船に携わる多くの皆様にとって自分史上最高の記憶に残る素晴らしい8日間になる事をお誓い申し上げ監査担当役員のご挨拶に代えさせていただきます。

監査担当役員挨拶

監査担当役員 下工垣 英志



44年という永きに亘り、数多くの出会いと感動を生み続けてきたJIC青年の船「とうかい号」。45回目を迎える本年は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海～」をスローガンに台湾の地へ出航いたします。まずは、「とうかい号」への乗船を決心し一歩踏み出していただきました一般団員の皆様を心から歓迎いたします。また、一般団員をご輩出いただきました企業ならびにご家族の皆様には本事業へのご理解とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

人は限られた時間の中でどこまで自らを変えることができるのでしょうか。近年、自己啓発セミナーや研修など、学びを得ることの機会は数多くありますが、ひとつ共通して言えることは、自分自身が一歩踏み出し挑戦しなければせっかくの機会を無駄にしてしまうということです。一般団員の皆様におかれましては、船上での8日間の生活と非日常の環境に不安もあるかと存じます。しかしながら、初めて出会う仲間も皆きっと似たような環境であることに違いはありません。このような環境で出会う仲間だからこそ、共にする時間はより濃くなり、「とうかい号」を通じて自らと向きあう研修やプログラムは、皆様にとってお互いを磨き合うことのできるかけがえのない経験となるでしょう。また、「とうかい号」の国際交流の場においては、一人の日本人として歴史や価値観を認識し、寄港地での現地の方々との交流を通して、異文化や価値観と触れ合い、日本人がこれまで受け継いできた精神性を学ぶ機会となれば幸いです。

結びとなりますが、「とうかい号」での8日間の洋上研修において得た経験が、乗船される全ての皆様にとって、自らの無限の可能性に挑戦し、これからの未来の扉を切り開く人財へと成長していただくことのできる実り多き航海となりますことをご祈念申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。

会計監査人挨拶

会計監査人 山口 幸久



第45回J C青年の船「とうかい号」の会計監査人を務めさせていただきます山口幸久と申します。過去2回乗船経験があり、貴重な体験と多くの出会いをいただきました。今回は恩返しのつもりで重責を全うする所存です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、J C青年の船「とうかい号」は、国や地域を牽引する人材を育成するための公益事業として、公益社団法人日本青年会議所の中でも最大級の予算規模を誇っています。また、日本籍の客船の中で2番めに大きな客船「ぱしふいっくびいなす」を丸ごと研修船にしてしまうため、日本全国においても最大級の研修船事業であると言えます。これほど規模の大きな事業が45回も続けられる理由、収益性が無いにも関わらず45回も続けられる理由、45回続けていても毎年新たな一般乗船者の皆様に乗船していただける理由。それは、ひとえに事業に関わる全ての人の情熱であると感じています。「全ては一般乗船者のために」これは事業に関わる青年会議所会員の合言葉です。毎年J C乗船者が入れ替わる制度にも関わらず、一般乗船者のために心一つに作り上げてきたからこそ、その情熱が一般乗船者の皆様にも伝わり、毎年素晴らしい研修船を作ることが出来たと感じています。本年も「とうかい号」に関わる全ての青年会議所会員と心一つに情熱をもって作り上げてまいります。

そして、会計監査においては、適切な予算計画に加えて費用対効果の観点から財政審査を行うことにより、公益性を担保しつつ皆様からお預かりする乗船料を充実した研修内容へと反映し、還元できるように務めてまいります。

最後に、J C青年の船「とうかい号」は、自分自身の可能性を引き出してくれる船です。乗船いただいた皆様が勇気をもって「とうかい号」の扉を開き、ご輩出いただいた企業様や住まう地域を輝かせる人財へと成長していただくことを祈念し、会計監査人挨拶とさせていただきます。

本部長挨拶

本部長
林 謙介



「とうかい号」はアジアと日本のかけ橋となる青年の育成を目的として、これまで44回継続され、日常とは違う環境だからこそ発見できる新たな気づきと改めて再認識する気づきを得ていただけます。これまで約26,000名と多くの方が乗船し、幾多の感動と共に多くの学びと気づきを得て、それぞれの地域や企業で活躍をされています。

若年層の人口減少が著しい社会情勢や、日本を取り巻く世界の環境が大きく変化している今だからこそ、先人達がこれまで多くの困難に立ち向かい時代を切り開いてきたように、我々が新たな時代を切り開いていく必要があります。そのためにも人とのつながりを大切に、更なる向上を求めて常に挑戦していくために、東海地区82会員会議所より集まった仲間とともに第45回JC青年の船「とうかい号」は明るい未来の扉を開ける人財の育成を目指して出航します。

8日間の限られた時間のなかで乗船した仲間と苦楽を共にするからこそ、心と心を通わせ本音で語り合うことができる一生涯の仲間をつくる機会となります。また「とうかい号」だからこそできる国際交流や様々な研修事業を通じて出会った仲間と切磋琢磨することで、多角的な視点から見る価値観を養い、自身の夢や目標を明確にしていくことにつながります。全ての出会い全ての出来事に感謝し、自身が所属する企業や地域などのあらゆる場面で活かすことのできる成長の場となります。

JC青年の船「とうかい号」に乗船した経験が人生を変えるきっかけになることをお約束いたします。我々とともに自己成長を求め、未来の扉を開ける航海（たび）で無限の可能性へ挑戦しましょう。皆様の乗船を心よりお待ち申し上げます。

財務特別部長挨拶

財務特別部長
林 誠



第45回J C青年の船「とうかい号」への乗船に際し、一般乗船者皆様のご決断に敬意を表すと共に感謝を申し上げます。J C青年の船「とうかい号」は、過去44回という歴史と伝統を脈々と受け継ぎ、未来を担う青年の育成に努めてまいりました。一般団員の皆様におかれましては、勤務先の企業様より多大なる期待の中、初めて出会う仲間との日常生活では経験できない旅に期待と不安を胸に乗船されることでしょうか。私は人生の中で最も価値のなる事の一つに「新たな出会い」が必須であると考えます。生まれて初めての出会いは「母」ですが、その後さまざまな出会いを繰り返し、多くの経験を積む事で、人は成長し磨かれてまいります。今回の乗船経験が一般乗船者の皆様にとって、青年期の時間軸においての新たな出会いと貴重な経験になる事を本部役員の一人としてお約束させていただきます。

さて、私の職務は一般乗船者の皆様をご輩出、ご推薦いただきました企業様やご家族、または個人の方々、そしてJ Cメンバーとして乗船されます皆様からお預かりさせていただいた乗船費用を公益法人会計に基づき、適切な予算執行と決算処理が行われるよう指導を行う事です。8日間という「貴重な時間」と、輩出いただいた企業様や支援者の皆様から想いのこもった乗船費用が、効率的且つ有効に活用されるよう財務運営を行います。また、健全性、公平性を確保し、コンプライアンスを遵守した公益性の高い財務管理を行う事で「とうかい号」の更なるポテンシャルを引き出します。

最後になりますが、準備段階よりご尽力いただきましたメンバーの皆様、そして歴史と伝統のある「とうかい号」を今日まで支えていただいた先輩諸兄に感謝を申し上げますと共に、一般乗船者の皆様が、この「とうかい号」に乗船することで一回りも二回りも大きく成長し、下船後それぞれの人生に新たな方向性を示し、地域で活躍されることを祈念申し上げます。

内地本部長挨拶

内地本部長 山崎 博征



「とうかい号」に乗船を決意されました皆様には、感謝と敬意を表すると共にこれから始まる洋上研修が実りある事をお約束させていただきます。45年の歴史を持つ「とうかい号」では、これまで数多くの青年がこの地域を担う人財として成長していただいております。昨今では技術の発達により10年前には想像できなかった発展をし、またこの先の10年をどのように発展させるかを見据えた時に、無限の可能性に挑戦し未来の扉を開く人財が必要不可欠になると考え、洋上研修のプログラムを構成致しました。そして、乗船された皆様により各々の地域の発展および経済の発展につながることを目指し航海を進めて参ります。いつの時代も未来を切り拓いてきたのは私たち青年世代なのです。

「とうかい号」で行う研修が他の研修と大きく異なり、実りある研修として優れている点は洋上で決められた空間にて、初めて会う仲間たちと共に生活し、研修を通して切磋琢磨することで、普段の日常では得られない学びや気づきを体感できることです。また、寄港地の台中では現地の同世代の青年たちと共に活動する機会を用意しており、今までに触れる機会が少ないであろう国際交流を積極的にしていただくことで、国際という新たな価値観がきっと芽生えるはずでしょう。そして、研修・国際交流のプログラムだけではなく船内での共同生活により、仲間を想う心や万物に対する感謝の念を体感していただき、古来から日本人が大切にしてきた「和の精神性」を身につけ、決められた時間と空間により、類い稀なる行動力などを身につけてくれるはずです。

結びとなりますが、「とうかい号」での経験が乗船者にとって一生涯忘れる事のない原体験をし、生涯の友情を築くことができる航海となるよう、全力で内地を預かせていただきます。「とうかい号」に関わったすべての皆様による、将来に希望が溢れる日本創生の核となる東海の創造を実現して参りましょう。

チームリーダー部長挨拶

チームリーダー部長 海野 洋平



第45回J C青年の船「とうかい号」にようこそ。一般乗船者の皆さんは、乗船するに当り、今まで経験したことのない未知の体験への挑戦に、大きな期待と不安を抱え、乗船を決意したと思います。しかし、決意するという初めの一步を踏み出したのは自分自身です。その勇気ある初めの一步こそが今という時代には最も必要とされ、これから先いきてく中で最も重要なことだと思えます。私は、皆さんのその決意に深く敬意を表します。

我々チームリーダーは、この8日間の研修が皆さんにとって最高の学びの場となるよう全力でサポートしてまいります。共に学び、共に笑い、共に行動し、常に皆さんの一番近い存在として、チームを引っ張ってまいります。8日間という時間は長いようで実際にはあっという間に過ぎてしまいます。しかしその中では、学びや気づき、喜びや悲しみ、達成感や苦しみ、怒りや優しさ、そして人に対する感謝といった数多くのドラマが生まれます。その全ては、皆さんにとって成長という形となり必ず返ってきます。自分自身の可能性への挑戦を決意し、勇気ある初めの一步を踏み出した時の強い気持ちを最後まで忘れること無く共に取組んでいきましょう。我々チームリーダーに本気でぶつかってきてください。そして我々チームリーダーを本気で頼ってください。我々チームリーダーは皆さんと本気になって向き合います。仲間と共にこの経験が一生の宝物となる最高の船を作り上げましょう。勇気ある初めの一步から全てが変わりません。

結びに、この第45回J C青年の船「とうかい号」に多大なるご理解をいただきました企業の皆様、そして、東海地区の82の各地会員会議所の皆様に感謝いたします。そして、お預かりした一般乗船者の皆さんを必ずや未来の扉を開ける人財へと成長させ、各企業・地域においても先頭に立ち、前向きに挑戦し、活躍出来るよう全力で導いてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

研修部長挨拶

研修部長
江間 卓也



皆様、第45回J C青年の船「とうかい号」へようこそ。皆様は、「とうかい号」にどのようなイメージを持ってみえますでしょうか。あるいはイメージすら持っていないという方もみえるかも知れません。これから始まる非日常の洋上生活、そして8日間の研修全てが乗船される皆様達にとって、今まで経験したことのない未知の体験への挑戦であり、沢山の学びを必ずやもたらしてくれるでしょう。

我々研修委員会は、8日間で全部合わせて10コマの研修を担当させていただきます。「とうかい号」は研修船だと言われております。これまでの日常の暮らしの中で、皆様は何を得て何を学んでみえるでしょうか。人生に何か目標を掲げて生きてみえるでしょうか。これからの研修が皆様に何か影響を与え、生きがいをもたらすものになるのでしょうか。正直分かりません。ただし、この8日間だけは何か得ようと一歩だけでも構いませんので、自分の殻に閉じこもらず前へと足を踏み出してみてください。きっと何か感じる事、勉強になる事があるはずです。研修の中で、皆様には自分の事を深く考えてもらい自分とは何か、知ってもらう機会を提供します。そして周囲の事柄にも目を向け、今まで育ってきた日本の事や、これからの社会にとって自分は何ができるのか。自分自身が会社や、周囲の人々に影響をもたらすことができるのか、様々な目線から自分の人生を見つめてもらう機会をつくっていきます。研修というツールを活用して皆様には人生での目標、生きがいを発見してもらう様に考えております。自分の可能性を信じ、勇気を出して一歩を共に踏み出していきます。

最後に、この第45回J C青年の船「とうかい号」に多大なるご理解、ご協力をいただきました企業の皆様、そして各地青年会議所の皆様に感謝いたします。必ずや一般団員の皆様を自ら考え、何事も恐れず挑戦する未来の扉を開ける人財へと成長していただけるよう邁進して参ります。

生活部長挨拶

生活部長 前島 靖勲



一般団員の皆様、挑戦の一步を踏み出し第45回J C 青年の船「とうかい号」への乗船を決意いただきましたことに対し、感謝の意を表するとともに心より歓迎いたします。

「とうかい号」は44年という歴史の中で、東海地区に住まう青年の成長を目的に事業が展開されて参りました。洋上という特殊な空間の中で研修を受け、気の置けない仲間との出会いを経て、多くの乗船者がそれぞれの地域やステージで活躍されています。そして、本事業には行動範囲や年齢制限などの様々な決まりがあるほかに、二度目の乗船はできないことも特徴の一つです。長い歴史の中で同じ内容の「とうかい号」はひとつとしてありませんし、テーマや寄港地、研修内容は毎船異なります。いうなれば、一般団員の皆様にとっては一生涯に一度きりの研修船となります。

さて、8日間の洋上研修においては、チームを率いるリーダーを筆頭に、研修やフェスティバル、寄港地でのしつらえ、活動の記録や歓送迎、全体を統括する事務局など様々な場面で青年会議所の団員が企画・支援を致します。その中で、私の受け持つ生活委員会では、主に健康や安全、風紀の管理を担います。特異な日々を送るにあたり、研修の効果を最大限に得るためにはまず健康であることが重要です。声掛けやパトロールなどを通して不調者にいち早く寄り添い適切に対処します。また、不測の事態や風紀の乱れにも目を光らせ、全団員が無事に下船するまでの確に行動して参りますので、安心して研修に取り組んでいただけます。

全ては一般団員のために。青年会議所の団員はもとより、講師や看護師の方々、関係者と連携を密にとり、万全を期して皆様の研修を支えて参ります。第45回目の「とうかい号」にて無限の可能性に挑戦し、未来の扉を開くことで皆様の成長につながり、一生涯の仲間と共にそれぞれの地域で活躍されますことを心より祈念いたします。

国際交流部長挨拶

国際交流部長
下田 硬範



一般団員の皆様、第45回J C青年の船「とうかい号」へ、ようこそお越しいただきました。乗船に覚悟を決めた皆様の一步踏み出す勇氣に敬意を表します。

研修船J C青年の船「とうかい号」は、多くの方々のご支援とご協力のおかげをもちまして、45回目を迎えることとなりました。これまで26,000名以上の青年が乗船し、44年間の経験と実績を積み上げた研修船です。第45回目を迎えるJ C青年の船「とうかい号」も1974年の第1回目から継承されてきた洋上研修と国際交流研修を二本柱に出航します。

私たちが住み暮らす現在の日本は、他の先進国と比べても生活水準が高く、治安も良く、安心安全に暮らすことのできる国です。それは先人達が志を立て、覚悟をもって次世代の人々をおもい築いてこられた賜物なのです。しかし、現在の生活が当たり前だとおもい生きている青年も多く見られるのが現状です。すべてのものに感謝し、他者をおもいやる日本人の美しい精神の伝承をしていかなければならないと考えております。

第45回J C青年の船「とうかい号」では、寄港先を台湾台中としており、日本統治時代からの建造物も多くあり、また近代的な開発が進む地でもあります。洋上研修のみならず、寄港地研修における国際交流をとおして異国の文化や風習に触れ見聞を広げると共に、外から自国を見つめ直すことで、世界に誇れる日本人の精神に気づくことができ、自身が自国に誇れる国家観を備えることができるのです。さらに、未知への目標を定め行動する未来志向の関係を構築するために、対話をとおしてお互いを尊重し合い、心かよわせる国際交流として相互理解と友好関係を深めることができると考えます。

結びに、一般団員の皆様が幾多の感動と共に多くの気づきと人生の一生涯の同志を得て、各々の地域や企業においてご活躍されることを願い、ご挨拶とさせていただきます。

企画部長挨拶

企画部長 鈴木 貴



今年で 45 回目を迎える J C 青年の船「とうかい号」は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海（たび）～」をスローガンに掲げ、寄港地台中へ向け 8 日間の航海へ出港致します。

44 年間の「とうかい号」の歴史は生涯の友との出会い、感動、成長を一般団員の皆様へ与え続けてきた歴史であり、今回乗船される皆様はこのチャンスを掴む第一歩を踏まれました事に敬意を表します。8 日間の洋上生活に対して期待や不安など様々な感情があると思います。乗船後も、仲間と共に過ごす楽しい時間や考え方の違いから衝突すること、大きな感動、この様々な感情が溢れる 8 日間の航海（たび）は皆様方の人生においてかけがえない財産になるでしょう。

私自身 2 回目の乗船で部長職を頂き、期待と高揚感でいっぱいです。担当させて頂きます企画委員会では、「最高の洋上生活、企画いたします！」を委員会スローガンとし洋上生活という非日常空間の中、緊張をほぐし不安を取り除く一助をさせて頂きます。

日々行われます研修の中、心身のリフレッシュをしていただくことで次の研修への活力を高める事業を企画運営させて頂きます。乗船中に得た多くの学びや気づきを実践していただくフェスティバルでは、日々の練習、準備を重ねチーム内の結束を高め友情と感動を育みます。また、チーム外の交流の場としましてクラブ活動やデッキランチ等もございますので一般団員の方には沢山の友情を育んでいただきたいと思います。委員会メンバー一丸となり全力でバックアップさせて頂きます。

結びに、「とうかい号」が乗船される皆様方の今後の財産になりますようご祈念申し上げ、また皆様方を応援して下さるご家族、企業様へ感謝申し上げます挨拶とさせていただきます。

広報記録部長挨拶

広報記録部長
山本 裕介



一般団員の皆様、ようこそ第45回J C青年の船「とうかい号」へ。

第45回J C青年の船「とうかい号」は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海（たび）～」をスローガンとして掲げ、寄港地台湾台中市へ向け出航をします。8日間の洋上での共同生活で多くの不安と期待をもっていらっしゃると思います。8日間の中で共に過ごす仲間と笑顔の溢れる時間もあるでしょう、それと同時に価値観の違いから衝突することも、思い悩むこともあるでしょう、その笑顔や悩みの中から生涯の友情を感じることもあると思います。それらすべては、一般団員の皆様が自ら研修や船内活動そして寄港地での活動に能動的に取り組むことで成果はより大きいものになります。

広報記録委員会では、皆様の乗船前から下船後に至るまでの成長や変化を遂げていく姿や仲間との瞬間を余すことなく、記録・撮影してまいります。そして前日の活動を振り返り、これからの研修の糧となる船内広報誌を刊行致します。下船に至るまでの多くの活動を余すことなく纏めた記念誌・記録映像を作成し、「とうかい号」を降りてからの人生において、多くあるであろう困難にぶつかったとき、自らを奮い立たせられるよう振り返ることができるように致します。

皆様にとってこの「とうかい号」での出会いや経験が、今後の人生における指針となりますようご祈念申し上げます。

目的・基本方針

基本方針

アジアと日本のかけ橋となる青年の育成を目的として継続されてきた「とうかい号」は、洋上での集団生活と研修から主体性と協調性を学び、寄港地での国際交流から歴史や文化の見識を広げ、地域をおもい前向きに挑戦できる青年を輩出してきました。

若年層の人口減少が著しい社会情勢や、日本を取り巻く世界の環境が大きく変化している今だからこそ、あらゆる場面で先頭に立ち、周囲を巻き込み時代を切り開く人財の育成が必要です。自らが住み暮らす地域に誇りと愛着をもち、新たな時代を築き上げるため、明るい未来の扉を開ける人財の育成を目的として第45回JIC青年の船「とうかい号」は出航します。

【前向きに挑戦できる人財育成のために】

自らを変えることができるのは自分だけです。そして自分を変えることができれば周囲の人たちを変える機会となります。「とうかい号」の研修プログラムを通じて「和」の精神性や他を慮る心、国や地域に対する主権者意識を育みます。さらに夢や目標を持つことで挑戦できる精神が形成され、どんな環境においても失敗を恐れず前向きに挑戦できる人財へ成長できる場を提供していきます。

【未来志向の関係構築のために】

寄港地で現地の人との交流だけでなく、寄港地の文化や習慣に直接触れ合うことができる「とうかい号」の国際交流は日常にない大きな経験となります。そして、未来志向の関係性を構築していくためには、自身に自国を誇れる国家観を備え交流することが重要です。「とうかい号」では、国や地域への誇りや愛着が自国を誇れる国家観として、他国と共に未来を見据えた相互理解と友好を深められる国際交流の機会を提供していきます。

【生涯の仲間を求めて】

「とうかい号」での洋上生活は、自分にとっての損得だけを判断する得手勝手な自己主張だけではなく、一人ひとりが主役となるための主体性と協調性が必要です。チームメイトの多様な価値観を受け入れ、学びや気づきを繰り返し経験しながらチーム内の信頼関係を構築していきます。「とうかい号」でしか経験できない船内生活を通じて、日本人が古来もつ「和」の精神性を育み、一生涯の仲間を生み出す機会を提供します。

下船後「とうかい号」で学んだこと、経験したことを自身が所属する企業や地域など、あらゆる場面で活かしていただくことで、未来の扉を開く人財として成長を遂げていると確信します。すべての出会い、すべての出来事に感謝し、何事にも成長の機会と捉え前向きに挑戦し、将来に希望が溢れる日本創生の核となる東海を創造します。

スローガン並びにシンボルマーク

スローガン

無限の可能性への挑戦

～未来の扉を開く航海（たび）～

先人達がこれまで多くの困難に立ち向かい時代を切り開いてきたように、私たちが新たな時代を切り開くためには、人とのつながりを大切に、更なる向上を求めて常に挑戦していくために、東海地区より集まった仲間とともに第45船J C青年の船「とうかい号」は出航します。共に乗船した仲間と苦楽を共にする時間を共有し、心と心を通わせることで、本音で語り合える一生涯の仲間を生み出す機会となります。

「とうかい号」だからこそできる国際交流や様々な研修事業、そして出会った仲間と限りある時間の中で切磋琢磨し、多角的な視点から見る価値観を養い、自身の夢や目標を明確にしていくことで、何事にも前向きに挑戦できる人財育成につながります。そして己の成長に留めることなく、すべての出会い、すべての出来事に感謝し、自身が所属する企業や地域など、あらゆる場面で活かしていただくことで、地域の未来を創造していく人財になることを願い、このスローガンにさせていただきました。

シンボルマーク



45 船までのあゆみ

船名	年	寄港地	スローガン
第 1 船	1974	マニラ・香港	この体験を日本とアジアのかけ橋に
第 2 船	1975	マニラ・香港	ひろげよう友情の輪 みつめようアジアの心
第 3 船	1976	マニラ・香港	南の海に今たしかめよう 若い時代のハーモニー
第 4 船	1977	マニラ・香港	燃やせ青春明日のために かけようアジアに大きな虹を
第 5 船	1978	マニラ・香港	ロマンスあふれる南の海ではばたけ青春明日のために
第 6 船	1979	マニラ・香港	アジアと東海の君を織ろう
第 7 船	1980	天津・北京	こいつは中国 深めよう友好 求めよう若者の未来
第 8 船	1981	天津・北京・秦皇島	新しい風と出会い こいつは中国
第 9 船	1982	大連・青島	新たなる出発 こいつは中国
第 10 船	1983	基隆・香港・廈門	青春・CRUSING アジアのかけ橋
第 11 船	1984	北京・天津	青春・ふれあい ロマンを求めて
第 12 船	1985	上海・天津・北京	翔べ 未知の航海へ
第 13 船	1986	天津・北京	青春見聞録大いなる航海・今!!
第 14 船	1987	天津・北京	夢 CARAVAN 燃えよ青春遣唐使 -21-
第 15 船	1988	天津・北京	MEMORIAL VOYAGE こいつは夢大陸 おもいきり青春! 今、出航
第 16 船	1989	香港	こころの海を越えて
第 17 船	1990	マニラ	新しい航海、新たなる友情
第 18 船	1991	台湾・香港	地球と Kiss 君と僕との Asian Dream
第 19 船	1992	台湾・香港	つどい・ふれあい・感動 - 我ら地球人 -
第 20 船	1993	台湾・香港	夢とロマンスをのせ 感動の海へ
第 21 船	1994	天津・北京	我ら地球人 君がどうかい号を熱くする!
第 22 船	1995	天津・北京・秦皇島	熱血・感動・大発見 いま 大陸への風が吹く!
第 23 船	1996	天津・北京	Heart to Hear 新しい風と共に
第 24 船	1997	香港・深せん	Open Love One Heart! あなたに出会う...
第 25 船	1998	台湾・香港	One Love One Heart! あなたに出会う
第 26 船	1999	台湾・香港	Catch the Wave 進め 新しい時代へ!
第 27 船	2000	台湾・香港	Challenge change chance 歴史を開け!
第 28 船	2001	上海・蘇州	We can create dream together.
第 29 船	2002	台湾	めざめよ! 地球市民 創めよう! 新たなる絆
第 30 船	2003	函館	Let's change something ~新しい自分に出会う~
第 31 船	2004	グアム	Feel the wind. Make my wave! ~人いま輝きながら~
第 32 船	2005	屋久島	~愛・世界につながるすべてのいのち~
第 33 船	2006	サイパン	世界に届け 我らの想い~世界に響け TOKAI(タカイ)~
第 34 船	2007	サイパン	Heart to Heat ひと・あなたにつながる心への海へ
第 35 船	2008	香港	KOKORO - 心 - ~豊かな心が輝く未来を創る~
第 36 船	2009	台湾	「道」七色の明日に向かって
第 37 船	2010	サイパン	「歩み」~君が越えられない壁はない! 新しい自分に逢いに行こう~
第 38 船	2011	沖縄	「まなざし」無限の可能性の彼方へ
第 39 船	2012	台湾	ありがとう ~思いやりでつながる最幸の未来に向かって~
第 40 船	2013	香港	「夢在人」であれ ~時代の燈火となるため~
第 41 船	2014	サイパン	未来の創造 一歩踏み出す自身への挑戦
第 42 船	2015	台湾	切り拓け! 情熱の航路~最高の仲間たちと最高の未来へ~
第 43 船	2016	台湾(高雄)	"未知の世界を突き進め! ~一人ひとりの勇気が未来を変える~"
第 44 船	2017	上海	「航海(うみ)の先に広がる無限の未来 ~光輝く東海の実現に向けて~」
第 45 船	2018	台湾	無限の可能性への挑戦 ~未来の扉を開く航海(たび)~

期間	使用船名	団長(所属 JC)	本部長(所属 JC)	主管
9/10~9/24(15日間)	ｺｰｼﾞﾌﾞﾘﾝｸﾞ	渡辺 一(豊田)	増岡 錦也(瀬戸)	愛知
5/24~6/ 6(14日間)	にっぽん丸	増岡 錦也(瀬戸)	渡辺 尚彦(一宮)	愛知
4/28~5/11(15日間)	ｺｰｼﾞﾌﾞﾘﾝｸﾞ	高木啓太郎(大垣)	浅野 宗平(羽島)	岐阜
4/27~5/11(15日間)	ｺｰｼﾞﾌﾞﾘﾝｸﾞ	柏木 順孝(名古屋)	本田 克弘(新城)	愛知
6/15~6/28(14日間)	にっぽん丸	中村 亨(伊勢)	田中 克己(津)	三重
6/ 1~6/14(14日間)	にっぽん丸	山田 宏(伊東)	前田 俊輝(浜松)	静岡
6/22~7/ 3(12日間)	にっぽん丸	田島 一男(岐阜)	金武 和彦(各務原)	岐阜
6/ 4~6/13(10日間)	にっぽん丸	神谷 義尚(半田)	古賀 的宣(刈谷)	愛知
6/ 4~6/13(10日間)	新さくら丸	田中 克己(津)	野田 篤憲(津)	三重
5/29~6/11(14日間)	新さくら丸	川口 英義(焼津)	宮代 定典(沼津)	静岡
6/ 2~6/13(12日間)	新さくら丸	渡辺 直由(美濃加茂)	遠山 義勝(関)	岐阜
6/ 2~6/14(13日間)	新さくら丸	横山 真久(豊田)	竹内 裕恭(安城)	愛知
6/ 1~6/12(12日間)	新さくら丸	平田 耕一(四日市)	水谷 重郎(鳥羽)	三重
5/31~6/11(12日間)	新さくら丸	西村予史男(静岡)	中山 幹雄(清水)	静岡
5/29~6/ 9(12日間)	新さくら丸	山田 通博(大垣)	二木長衛門(高山)	岐阜
6/ 3~6/14(12日間)	新さくら丸	林 芳行(名古屋)	本多 啓一(岡崎)	愛知
6/ 3~6/14(12日間)	新さくら丸	芝 博一(鈴鹿)	太田 成重(桑名)	三重
6/ 2~6/13(12日間)	新さくら丸	松村 友吉(焼津)	田中 利宏(袋井)	静岡
5/31~6/10(11日間)	ふじ丸	後藤 明彦(関)	上村 兼司(大垣)	岐阜
5/23~6/ 2(11日間)	ふじ丸	富田 春治(安城)	新美 宗和(碧南)	愛知
5/29~6/ 8(11日間)	ふじ丸	小柴 真治(津)	永戸 秀樹(鈴鹿)	三重
6/ 8~6/18(11日間)	ふじ丸	矢崎 春一(富士)	大庭健一郎(御殿場)	静岡
6/ 7~6/16(10日間)	ふじ丸	杉山 正裕(岐阜)	山口真砂樹(美濃加茂)	岐阜
6/ 5~6/15(11日間)	ふじ丸	佐藤 元英(豊橋)	鳥居 光(西尾幡豆)	愛知
6/ 5~6/14(10日間)	ふじ丸	小谷中 剛(桑名)	青山 春樹(津)	三重
6/ 4~6/13(10日間)	ふじ丸	岡本美奈子(熱海)	漆原 宏(静岡)	静岡
6/ 2~6/11(10日間)	ふじ丸	山本 善隆(高山)	吉村 浩平(中津川)	岐阜
6/ 2~6/ 9(8日間)	ふじ丸	永田 正也(岡崎)	久田 茂(田原)	愛知
6/ 1~6/ 8(8日間)	ふじ丸	濱田 典保(伊勢)	早川 昌彦(四日市)	三重
6/ 7~6/14(8日間)	ふじ丸	田原 育宏(浜松)	伊藤 卓見(浜北)	静岡
6/ 5~6/13(8日間)	ふじ丸	中田 学(高山)	堀 富則(大垣)	岐阜
6/ 4~6/11(8日間)	ふじ丸	横田 貴次(半田)	峠 貴斗(春日井)	愛知
6/10~6/17(8日間)	ふじ丸	村井 浩一(松坂)	岡 信久(伊勢)	三重
6/ 2~6/ 9(8日間)	ふじ丸	渡邊 英正(三島)	九住与志人(静岡)	静岡
6/ 7~6/15(8日間)	ふじ丸	伊東 謙一(多治見)	広瀬 貴久(関)	岐阜
6/14~6/21(8日間)	ふじ丸	鈴木 和也(岡崎)	柴田 征充(豊田)	愛知
6/ 5~6/13(9日間)	ふじ丸	松蔭 康博(鈴鹿)	樋口 裕貴(四日市)	三重
6/ 4~6/11(8日間)	ふじ丸	西山 恭矢(浜松)	松本 雅博(静岡)	静岡
6/ 2~6/ 9(8日間)	ふじ丸	加藤 大武(岐阜)	松崎 英之(瑞浪)	岐阜
6/ 1~6/ 9(9日間)	ふじ丸	末岡 仁(名古屋)	伊藤 大悟(小牧)	愛知
6/ 8~6/15(8日間)	ふじ丸	伊藤 彰(四日市)	松倉 久登(松坂)	三重
5/31~6/ 7(11日間)	ぼしふいっくひいなず	杉澤 教人(沼津)	寺田 直樹(袋井)	静岡
6/ 5~6/12(8日間)	ぼしふいっくひいなず	前田 創史(各務原)	橋本 尚文(岐阜)	岐阜
5/28 ~6/ 3(7日間)	ぼしふいっくひいなず	野萩 晃充(一宮)	渡辺 佳朗(春日井)	愛知
6/ 3~6/10(8日間)	ぼしふいっくひいなず	細野 勝雅(津)	林 謙介(桑名)	三重

航海全航図

第45回 J C 青年の船「とうかい号」 航路予定図

【入出港予定】

2018.6. 3(日)名古屋港出港

2018.6. 6(水)台中港入港

2018.6. 7(木)台中港出港

2018.6.10(日)名古屋港入港



第45回J.C青年の船「とうかい号」

全航スケジュール

平成30年6月3日(日)～平成30年6月10日(日)

Aチーム	Cチーム
Bチーム	Dチーム

Aチーム	Cチーム
Bチーム	Dチーム

Aチーム	Cチーム
Bチーム	Dチーム

Aチーム	Cチーム
Bチーム	Dチーム

	6月3日(日) 1日目	6月4日(月) 2日目	6月5日(火) 3日目	6月6日(水) 4日目
6:00				
		起床	起床	起床
7:00		朝の集い	朝の集い	朝の集い
		準備/移動	準備/移動	準備/移動
8:00		朝食 チームアワー	朝食 チームアワー	朝食 チームアワー
		朝食 チームアワー	朝食 チームアワー	朝食 チームアワー
9:00		準備/移動	準備/移動	準備/移動
		研修 オリエンテーション		寄港地 オリエンテーション
10:00		研修①	研修③	下船 オリエンテーション
11:00	客室 荷物搬入 NOタグ付 出国手続き	準備/移動	準備/移動	下船 入国審査
12:00		昼食 チームアワー	デッキランチ	
		チームアワー 昼食		
13:00	式典	準備/移動	準備/移動	移動 (弁当)
	乗船	クラブ活動①	クラブ活動②	
14:00	出航			
15:00	準備/移動	準備/移動	準備/移動	
	オリエンテーション/ 避難訓練	研修②	研修④	寄港地活動
16:00	準備/移動			
17:00	チームアワー	準備/移動	準備/移動	
18:00		夕食 チームアワー	夕食 チームアワー	
		チームアワー 夕食	夕食 チームアワー	寄港地パーティー
19:00	準備/移動/ 着替え	準備/移動	準備/移動	
	* 船長主催 ウェルカム パーティー	ブロックナイト	研修⑤	
20:00	準備/移動/ 着替え			準備/移動/乗船
21:00	チームアワー	準備/移動	準備/移動	
22:00		チームアワー	スターツアーズ	チームアワー
23:00	自由時間 入浴 就寝準備	自由時間 入浴 就寝準備	自由時間 入浴 就寝準備	自由時間 入浴 就寝準備
00:00	消灯	消灯	消灯	消灯

*印は正装にての出席をお願いします。

*現地時間
*24時に時差修正
(-1時間)

Aチーム : Cチーム Bチーム : Dチーム		Aチーム : Cチーム Bチーム : Dチーム		Aチーム : Cチーム Bチーム : Dチーム		Aチーム : Cチーム Bチーム : Dチーム	
6月7日(木) 5日目		6月8日(金) 6日目		6月9日(土) 7日目		6月10日(日) 8日目	
起床		起床		起床		起床 6:00	
朝の集い		朝の集い		朝の集い		朝の集い	
準備/移動		準備/移動		準備/移動		準備/移動 7:00	
チームアワー 朝食(弁当)		朝食 チームアワー		チームアワー 朝食		朝食 チームアワー 8:00	
下船/移動		チームアワー 朝食		朝食 チームアワー		朝食 準備/移動	
寄港地活動		準備/移動		準備/移動		準備/移動 9:00	
		研修⑦		研修⑧		研修⑨ 10:00	
		準備/移動		準備/移動		準備/移動	
		朝食 チームアワー		チームアワー 朝食		解団式 11:00	
出国審査 乗 船		準備/移動		チームアワー 朝食(弁当) フェスティバル 準備		昼食(弁当) 12:00	
昼食		クラブ活動③		準備/移動		準備/移動	
準備/移動		準備/移動		準備/移動		準備/移動	
チームアワー		チームアワー		フェスティバル		チームアワー/ 下船待機 13:00	
準備/移動		準備/移動		準備/移動		準備/移動	
研修⑥		準備/移動/着替え		準備/移動		準備/移動 14:00	
		* フォーマル ディナー		チーム アワー		準備/移動	
準備/移動		* フォーマル ディナー		片付け		準備/移動	
チームアワー		チームアワー		休憩/準備/移動		準備/移動	
夕食		* フォーマル ディナー		* 団長主催 さよなら パーティー		準備/移動	
準備/移動		準備/移動/着替え		準備/移動		準備/移動	
チームアワー		チームアワー		チームアワー		準備/移動	
		自由時間 入浴 就寝準備		自由時間 入浴 就寝準備		自由時間 入浴 就寝準備	
自由時間 入浴 就寝準備		自由時間 入浴 就寝準備		自由時間 入浴 就寝準備		自由時間 入浴 就寝準備	
消灯		消灯		消灯		消灯 00:00	

※現地時間
※24時に時差修正
(+1時間)

運航中会議体系

運航中に次の諸会議を置き、連絡・資料作成等は事務局で行う。
寄港地活動中は、各会議担当責任者の判断において随時行う。

会議名	機能	構成員	時間	責任者
本部役員会議	事業遂行の為に緊急を要する事業内容変更を協議する	本部役員 (非乗船役員は委任状態)	随時	団長
船内連絡調整会議	事業遂行の為に毎日の全体活動を確認し、必要事項の連絡・調整する	本部役員	AM1:00頃～ ※毎日のスケジュールにより変更有り	本部長
部長会議	本部長が特に必要と思われるときに招集して協議する	本部役員 チームリーダー-部長 事務局長	随時	本部長
チームリーダー会議	毎日の全体活動を確認し各チームとの連絡・調整を密とすると共に必要事項を協議する	チームリーダー-部長 チームリーダー-必要委員 (ブロック会長) (監査担当役員)	1日2回	チームリーダー-部長
研修会議	毎日の研修に際して事前に打合せ、会場準備・設営等の調整協議をする	研修部長 研修委員長 (講師)	随時	研修部長
生活会議	団員の健康・規律等、生活面での問題点を把握し、本部役員会議に上程すべき事項を協議・整理する	生活部長 生活委員長 (日本クルーズ客船㈱)	随時	生活部長
国際交流会議	渡航先での現地活動を通じ安全で快適な行動が円滑に進むように、各委員会の連携を密にし準備設営等の協議をする	国際交流部長 国際交流委員長 (㈱ JTB)	随時	国際交流部長
企画会議	毎日の企画に際して事前に打合せ、会場準備・設営等の調整協議をする	企画部長 企画委員長	随時	企画部長
広報記録会議	毎日の記録・広報に際して事前に打ち合わせ、準備設営等の協議をする	広報記録部長 広報記録委員会 (カメラマン)	随時	広報記録部長
委員会	各委員会の事業遂行の為に協議をする	委員	随時	委員長
対船会議	船側との連絡を密にする為に協議をする	事務局長 ㈱ JTB 日本クルーズ客船㈱ 必要委員会	1日1回	事務局長
全体会議	団長が特に必要と思われる時に招集して協議する	乗船JCMメンバー	随時	団長
内地会議	内地本部長が特に必要と思われる時に招集して協議する	内地本部長 事務局	随時	内地本部長

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

出航式・帰港式のご案内

2

歓送迎委員会からのご案内

出航式タイムスケジュール

出航式タイムスケジュール
(雨天時)

帰港式タイムスケジュール



歓送迎委員会からのご案内

歓送迎委員長 川村 浩嗣



「とうかい号」の出航に先立ち、航海の安全祈願をするとともに、皆様の出航を盛大に激励するために、出航式を開催いたします。また、「とうかい号」帰港後、8日間に及ぶ洋上研修を終えて成長した皆様に賞賛し、労をねぎらうために、帰港式を開催いたします。皆様の限りなき挑戦を後押しする式典を開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

出航式・帰港式の詳細については以下のとおりです。

【出航式について】

●開催日時

2018年6月3日(日)
式典 12:45 ~ 13:20 (雨天時 12:45 ~ 13:10)
乗船 13:30 ~ 14:30
出航 14:30

●開催場所

名古屋港ガーデンふ頭 つどいの広場
(雨天時 名古屋港ガーデンふ頭 第3号岸壁)

●受付時間

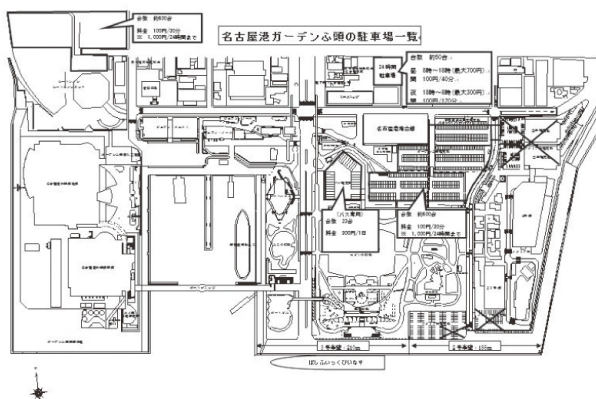
乗船者受付 10:45 ~ 12:45
愛知・三重ブロック 10:45 ~ 11:45
岐阜・静岡ブロック 11:45 ~ 12:45
※受付時の混雑を避けるため、ブロックごとに受付時間を上記のとおり指定させていただきます。受付が遅れますと出航時間が遅れる場合がありますので、必ず時間内に受付を済ませてください。

●依頼事項

- 1) 受付終了後、船への荷物の搬入を行います。荷物の搬入後は自由時間となりますが、出航式式典開始時間に間に合うよう会場へお越してください。
- 2) 出航式には、大変多くの方がお見えになりますので、歓送迎委員会及びとうかい号事務局の各スタッフ(各統一ユニフォーム着用)の指示に従っていただきますようお願いいたします。

1. 駐車場について

- 1) 出来る限り公共交通機関をご利用ください。近くに地下鉄（地下鉄・名港線「名古屋港」）の駅がございますのでご利用ください。
- 2) 近隣道路は全面駐車禁止ですので、道路や会社関係の駐車場には絶対駐車しないでください。
- 3) 名古屋港ガーデンふ頭駐車場は駐車台数が限られており、大変混雑が予想されます。満車の場合は、400m程西側のガーデンふ頭西駐車場他、近隣の民営駐車場をご利用ください。



2. 受付について

- 1) 乗船者は受付テントにて受付時間内に受付手続きを済ませてください。
受付場所はつどいの広場です。
- 2) 当日は受付が大変混雑することが予想されます。ブロックごとに以下の指定された時間内に乗船者受付を済ませていただけますよう、ご協力をお願いいたします。
愛知・三重ブロック 10:45～11:45
岐阜・静岡ブロック 11:45～12:45
※各ブロック指定の時間帯より早く受付をすることも可能ですので、早めの受付をよろしくお願いいたします。
- 3) 受付終了後、船内の各部屋に各自で荷物を搬入していただきます。

3. 出航式式典について

- 1) 出航式式典が12:45より、つどいの広場にて開催されますので、5分前にはつどいの広場に集合していただき、チームごとに整列してください。
- 2) 式典終了後、つどいの広場より第3号岸壁まで、音楽隊を先頭にお見送りの皆様のアーチの中を各チーム並んでパレードしていただきます。なお、雨天時はパレードを行いません。
- 3) 雨天時は、出航式式典を12:45より第3号岸壁にて開催いたします。皆様は、「ぱしふいっくびいなす」船内からの式典参加となります。

4. その他

- 1) 岸壁の防護柵を越えて船に近づかないでください。
- 2) 名古屋港は公共施設ですので、芝生の中に入ったりフェンス等に登ったりしないでください。
- 3) 屋外での飲食はご遠慮ください。ビール・日本酒等のアルコール類の持ち込みは厳禁です。
- 4) ゴミは各自が責任を持って処分していただくか、お見送りの方に持ち帰っていただくようお願いいたします。
- 5) 指定場所以外での喫煙はご遠慮ください。原則禁煙にご協力をお願いいたします。
- 6) 体調や気分が悪くなった場合は、速やかに歓送迎委員会もしくはとうかい号事務局の各スタッフにお申し出ください。

【帰港式について】

●開催日時

2018年6月10日（日）

接岸 13:30（予定）

式典 14:00～14:30

下船 14:30～（下船後、順次解散）

●開催場所

名古屋港ガーデンふ頭 第3号岸壁

1. 帰港式式典について

- 1) 式典は第3号岸壁で行いますが、皆様は「ばしふいっくびいなす」船内からの式典参加となります。
- 2) 帰港報告を行っていただく一般団員代表の方は、船内スタッフの指示に従い、本部役員団と一緒に下船して式典に参加していただきます。お一人につき2分ほどの帰港報告を予定しております。

2. 下船について

- 1) 帰港式後、順次下船していただきますので、指示に従って速やかに下船してください。
- 2) チームごとにアナウンスされましたら、エールを披露していただきます。エール披露後は速やかにつどいの広場へご移動をお願いいたします。
- 3) 各自、自分の荷物を持って下船してください。
- 4) 下船後はつどいの広場にて順次解散となります。

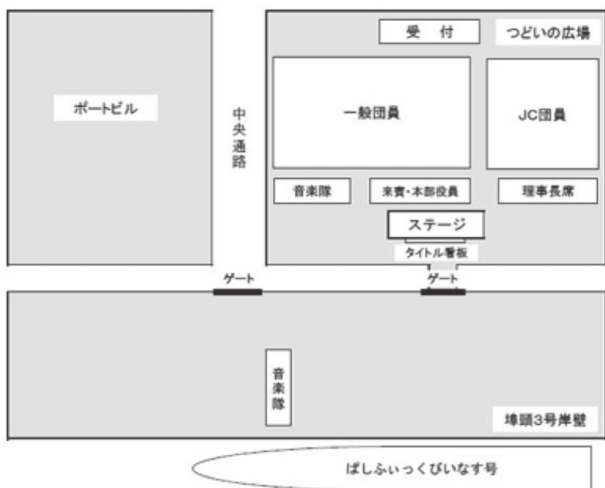
3. その他

- 1) 岸壁の防護柵を越えて船に近づかないでください。
- 2) 名古屋港は公共施設ですので、芝生の中に入ったり、フェンス等に登ったりしないでください。
- 3) 屋外での飲食はご遠慮ください。ビール・日本酒等のアルコール類の持ち込みは厳禁です。
- 4) ゴミは各自が責任を持って処分していただくか、お見送りの方に持ち帰っていただくようお願いいたします。
- 5) 指定場所以外での喫煙はご遠慮ください。原則禁煙にご協力をお願いいたします。

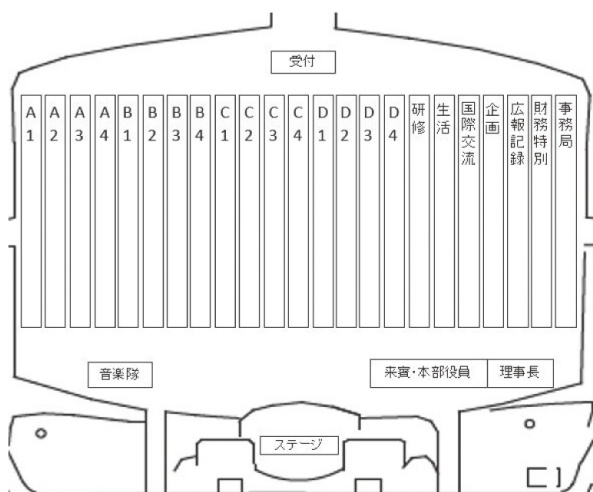
出航式タイムスケジュール

【晴天時】 日時：2018年6月3日(日)
 10:45～14:30(式典12:45～13:20)
 場所：名古屋港ガーデンふ頭 つどいの広場

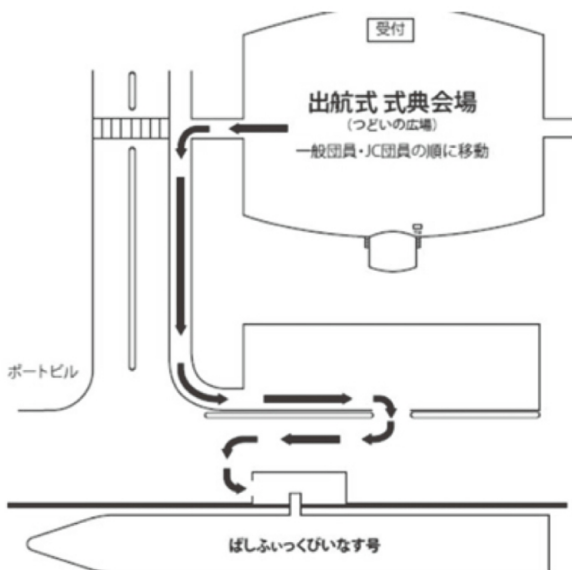
時間	内容
10:45	愛知・三重ブロック一般団員受付開始
11:45	岐阜・静岡ブロック一般団員受付開始 受付終了後、お見送りの方と交流(自由時間)
12:30	乗船者 集いの広場に集合・整列
12:45	受付終了
12:45	出航式開会(吹奏楽演奏) 開会宣言 国家斉唱
12:48	団長挨拶
12:51	船長挨拶
12:53	来賓紹介
12:55	講師紹介・代表挨拶
13:00	一般団員宣言
13:03	安全祈願御守授与
13:05	花束贈呈
13:08	激励の言葉
13:10	激励演奏
13:20	閉会宣言 吹奏楽演奏・パレード開始・乗船
14:00	役員団乗船後安全を確認しゲート開放 (見送りは第3号岸壁へ入場)
14:20	紙テープ投げ
14:30	ばしふいっくびいなす出航



●晴天時出航式整列図（つどいの広場）

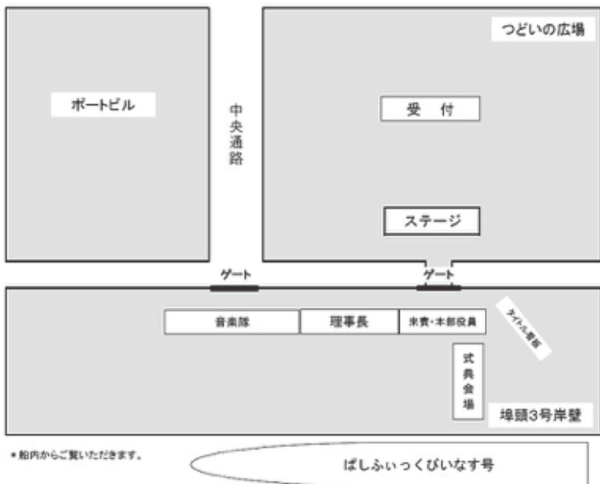


●出航式パレード動線



【雨天時】 日時：2018年6月3日(日)
 10:45～14:30(式典12:45～13:10)
 場所：名古屋港ガーデンふ頭 第3号岸壁

時間	内容
10:45	愛知・三重ブロック一般団員受付開始
11:45	岐阜・静岡ブロック一般団員受付開始 随時乗船開始
12:15	J C 団員受付開始
12:45	受付終了
12:45	出航式開会(吹奏楽演奏) 開会宣言 国歌斉唱
12:48	団長挨拶
12:51	船長挨拶
12:53	来賓紹介
12:55	講師紹介・代表挨拶
13:00	一般団員宣言
13:03	安全祈願御守授与
13:05	花束贈呈
13:08	激励の言葉
13:10	閉会宣言
14:00	役員団乗船後安全を確認しゲート開放 (見送り者は第3号岸壁へ入場)
14:30	ばしふいっくびいなす出航 ※雨天時は安全に配慮し、紙テープ投げを中止いたします。



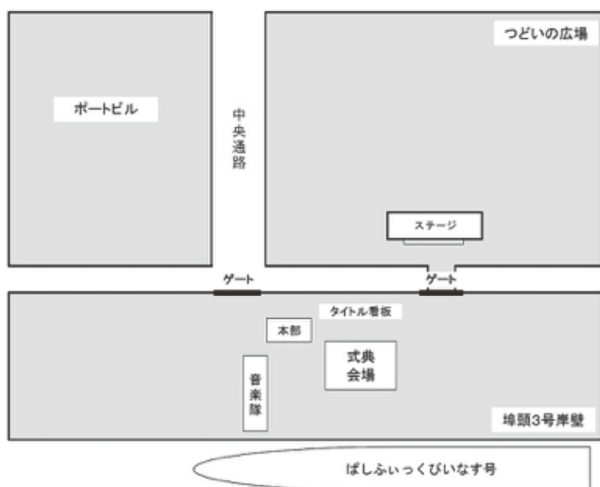
帰港式タイムスケジュール

日時：2018年6月10日(日)

13:30～15:30

場所：名古屋港ガーデンふ頭 第3号岸壁

時間	内容
13:30	接岸予定
14:00	帰港式開会・開会宣言
14:02	花束贈呈 贈呈対象者 (団長・本部長・ブロック会長・ 一般団員代表(2名)・船長・講師・監査担当役員・チームリーダー部長)
14:05	帰港報告
14:25	慰労の言葉及び締めのご挨拶
14:29	閉会宣言
14:30	一般団員下船開始 J C 団員下船開始 A 1 から順次に A 2、A 3、B 1・・・D 4 本部役員団握手にて順次下船 エール披露後、つどいの広場へ移動(解散)
15:30	下船終了 ※雨天時はテント内で開催いたします。



無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

研修のご案内

3

研修委員会からのご案内

研修方針

研修フローチャート



研修委員会からのご案内

研修委員長 鈴江 数正



一般団員の皆様、初めまして第45回J C青年の船「とうかい号」にて、研修委員長をさせていただきます鈴江数正です。よろしくお願いいたします。まずは、皆様と皆様をご輩出していただきました企業様、ご家族に心より感謝申し上げます。

皆様、「とうかい号」に乗船するにあたり、どんな気持ちですか？ワクワクしている？・不安？・めんどくさい？様々な方がみえると思います。人それぞれ価値観や感情は違いますから私はどんな気持ちを持っていてもいいと思います。しかし、どんな形にしても乗船という一歩を踏み出した方々がこれを読んでくれています。その時点で素晴らしい事ですし、行動力のある方々だと敬意を表します。

私は Simple is best が好きなので、あまり難しい事は、言いません。勇気ある皆様が、とうかい号で少しでも何かを感じ、気づき、自分の家族・友達・会社そして地域に活かしていただければ嬉しいです。どうか8日を楽しんでください！

~~~~研修を受講される上での注意事項~~~~

1. 集中して研修を受けていただくために

- ①研修中はホールの床（カーペット）上にそのまま着座しますので、小さな座布団（クッション等）を持参してください。
- ②研修中に体操など体を動かしたりすることもありますので、ズボンやスニーカー等の着用をお願いします。
- ③研修ルーム内は冷房で非常に乾燥しますので、上着や飴などを持参することをお勧めします。
- ④酔いやすい方は、酔い止め薬の服用をお勧めします。

2. 有意義で効果的な研修を受けていただくために

- ①研修中の不必要な私語は厳禁とし、携帯電話などのデバイス、音楽プレイヤー等は持ち込み禁止とします。
- ②乗船初日にお渡しする「研修ノート」を必ず持参してください。また、研修中にメモを取る時がありますので、各自筆記用具を持参してください。
- ③発言の機会がある際は、積極的に挙手をお願いします。

研修方針について

はじめに

東海地区は、豊かな自然、伝統文化に恵まれ、更には製造業の盛んな地域であり、ものづくりの一大拠点として成長してきました。そのような時代背景の中、近年では人口減少に伴う過疎化や経済活力、地域力の低下が問題視されているのも事実です。しかし、日本の中心に位置するアクセスの良さと更なるインフラの整備が期待される東海地区は、日本創生の鍵を握っていると言っても過言ではありません。そのためにも地域住民一人ひとり、特に青年世代の私たちが自分と向き合い、真の強さを持ち自ら考え行動できる、未来の扉を開ける人財へと成長する必要があります。

研修方針

未来の扉を開ける人財への成長

～真の強さを持ち自ら考え行動する～

～～～～～自己肯定感を高める～～～～～

己を知るとともに、己の価値を見出す

～～～日本人としての価値観を築く～～～

日本という国を知り、日本人としての考え方を学ぶ

～主権者意識を持ち情熱をもって行動する～

会社や地域の未来を見極め、己の志に向けて挑戦する

行動指針について

行動指針

一、素直な気持ちで取り組む

何事も真摯に受けとめる心構えをすること。
成果は心構えによりプラスにもマイナスにもなります。

素直な気持ちで取り組むことで
研修の成果を飛躍的に向上させましょう。

二、目的意識をもつ

目的意識も成果の大小を決める大切な要素です。

自分を、チームをどうするべきなのか。
研修だけでなく、とうかい号で起こるすべての事柄に
目的意識をもち取り組みましょう。

三、一步踏み出す

行動しなければ成果はありません。
夢や目標を叶えるには、自ら考え行動する力が大切です。
自分らしく一步を踏み出し情熱をもって
何事にも果敢に行動しましょう。



第45回 J C青年の船「とうかい号」 研修フローチャート

研修GOAL

～未来の扉を開ける人材へ～

主権者意識を持ち情熱を持って行動する

6月7日(木)
16:45~18:45
テーマ:未来を考えよう!
講師:神谷 宗幣氏

6月8日(金)
9:30~11:30
テーマ:問題に立ち向かおう!!
講師:矢部氏、神谷氏

6月9日(土)
9:30~11:30
テーマ:情熱を燃やす!!
講師:大嶋 啓介氏

6月10日(日)
9:00~10:30
テーマ:具体的な行動を決める!!
講師:大嶋氏、矢部氏、神谷氏

「何のために」と「誰のために」情熱を燃やすかを明確にし、真の強さを身に付ける

真の強さをもち自ら考え行動する!!

真の強さをもち自ら考え行動する!!



自分自身の価値を知り、日本に対する誇りを持つことで、主権者意識の芽生えにつながる

日本人としての価値観を築く

6月5日(火)
15:30~17:30
テーマ:国の事を知ろう!!
講師:神谷 宗幣氏

6月5日(火)
19:45~21:45
テーマ:日本人の精神性を学ぼう!!
講師:神谷 宗幣氏

我が国の歴史、伝統、文化を尊び、自然の恵みや先祖に感謝すると共に、現代の日本におきている問題の源流を理解する

今、世界が注目するかつての日本人の精神性を知り、現代の日本人の精神性に何が足りないのかを理解する



自分自身の価値を考えたことで、日本についての学びと自分を結びつけることができる

自己肯定感を高める

6月4日(月)
15:30~17:30
テーマ:可能性に限りはない!!
講師:大嶋氏、矢部氏

6月5日(火)
9:30~11:30
テーマ:自分を知り価値を見出そう!!
講師:矢部 裕貴氏

自分自身や研修に対する期待感、意欲を醸成する。見方・考え方で結果は変わる。

自分の人生を肯定的に振り返り、仲間との共感・承認を生み出すことで、これまでの人生の価値に気づく



研修に対する確かな心構えと、やる気を持ち、各研修の効果を高める

さあ始まるぞ!! とうかい号

6月4日(月)
9:30~10:00
オリエンテーション
講師:大嶋氏、矢部氏、神谷氏

6月4日(月)
10:00~11:30
テーマ:最高のチームを作る!!
講師:大嶋 啓介氏

とうかい号における、研修目的、研修概要、行動指針を理解する

とうかい号はチーム活動。可能性を引き出す仲間の力、空気づくり、絆の力を知る

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

記録・広報活動について

4

広報記録委員会からの依頼事項



広報記録委員会からのご案内及び依頼事項

広報記録委員長 横里 和俊



広報記録委員会では、第45回J C青年の船「とうかい号」での活動全般において、皆様の足跡や輝きの瞬間一つ一つを余すことなく捉え、写真や映像として記録してまいります。

乗船中は毎日お一人に一枚ずつ、船内広報誌「FORWARD」をお配りします。前日の出来事を記録した写真や研修に関するQ&A、団員のインタビューなど、様々な情報をリアルタイムでお届けします。「とうかい号」での思い出の一つとして、大切にお持ち帰りください。下船後は船内で記録した膨大な写真や映像をもとに記念誌を作成し、8月に開催される予定の「乗船者の集い」の時に配布いたしますので、是非そちらも楽しみにしてください。きっとご自身や一緒に活動した仲間たちの成長を感じ取れるはずですよ。

乗船中は各チームに一人ずつ、当委員会のメンバーが専属カメラマンとして配置され皆様と活動を共にします。皆様の表情を最も近いところから記録しながら、また、見守っている存在でもあります。船内生活での不安や悩み、質問など何でもお気軽にお尋ねください。きっと良き相談相手になってくれることでしょう。

記念誌(アルバム)、記念データ(動画)作成について

- ・各チームより男女お一人ずつアルバム委員をご選出頂き、作成のお手伝いをして頂きます。下船後のアルバム委員会（6月24日予定）にて、アルバム掲載の写真選定にご協力頂きます。（アルバム委員会の詳細につきましては後日改めてご案内いたします。）
- ・「とうかい号」の活動全てを通し、2人1組のプロカメラマンが動画撮影を行います。インタビュー等のお願いをすることもございますので、温かいご協力をお願いいたします。
- ・下船後配信する記念データ（動画）はホームページからアクセスできるようにいたしますが、その際入口にパスワードを設けさせていただきます（パスワードは乗船中にお知らせいたします。）ので、お忘れなきようお願いいたします。また、ダウンロードしたデータのお取り扱いには十分ご注意くださいようお願いいたします。

広報活動全般について

- ・アルバム委員は船室内の風景など、チーム付のJ C団員が取材しにくい場所での撮影にご協力をお願いいたします。500万画素以上の記録が行えるデジタルカメラにて撮影し、当委員会へデータをご提供頂きます。カメラの準備など、詳細は追ってご連絡いたしますが、携帯電話、スマートフォンをカメラとして使用することはご遠慮ください。既にデジタルカメラをお持ちの団員の方でやって頂ければ良いかと思えます。
- ・全体記念撮影やチーム紹介の写真など、多人数での集合写真撮影の際はこちらの誘導に速やかにご対応頂きますようよろしくお願いいたします。
- ・広報記録委員会は、毎日の船内広報誌を通して、皆様の船内生活がより豊かなものとなるようサポートしてまいります。皆様の最高の瞬間を記し、下船後、「とうかい号」で得た気づきをいつでも思い出せるような最高の記念誌と記念データを作成、配布いたします。

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

船内での活動

5

企画委員会からのお知らせ



企画委員会からのお知らせ

企画委員長 坂本 大輝



企画委員会では8日間にわたる洋上生活の中で、研修や寄港地活動などにより積極的に、より効果的になるように、団員同士の交流や心と体のリフレッシュが図れる場をご用意しております。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

【船内放送】

★初回放送

日 時：6月3日 23:00～23:50(50分)

内 容：初日の初回放送です。DJの紹介、今後の放送時間のお知らせ、そして本部役員と講師の方々の紹介と意気込みを放送し、船内放送のスタートを切ります。

★目覚まし放送

日 時：6月 4日 6:30～6:50(20分)

6月 5日 6:30～6:50(20分)

6月 6日 6:30～6:50(20分)

6月 7日 6:30～6:50(20分)

6月 8日 6:30～6:50(20分)

6月 9日 6:30～6:50(20分)

6月10日 6:30～6:50(20分)

内 容：1日の全ての事業のスタートを切る放送です。現在の天気、船の位置、前日の出来事、当日の予定や朝の集いなどの情報をお伝えし、全団員に情報を共有させ意思疎通を図ります。また、気持ちよく事業に没頭できるような曲を放送します。

★朝食時放送

日 時：6月 4日 7:45～9:15(90分)

6月 5日 7:45～9:15(90分)

6月 6日 7:45～9:15(90分)

6月 8日 7:45～9:15(90分)

6月 9日 7:45～9:15(90分)

内 容：朝食及び1日の最初のチームアワー時に放送します。その日に行われる事業についての情報をお伝えするとともに、皆様の思いや意気込みが書かれたメッセージや応援・激励メッセージをお伝えします。また、食事中に皆様にインタビューし、1日の活動に対する意識・意欲を高めます。

★就寝前放送

日 時：6月 4日 23:00～23:50 (50分)
6月 5日 23:00～23:40 (40分)
6月 6日 23:00～23:40 (40分)
6月 7日 23:00～23:40 (40分)
6月 8日 23:00～23:40 (40分)
6月 9日 23:00～23:40 (40分)

内 容：1日の全ての活動を終え、就寝前に放送します。ゲストコーナーの時間を設け、皆様をゲストスピーカーとして迎え、1日の出来事を反省します。本部役員と講師の方の対談コーナーでは講師の方の人となりや研修内容を事前に知らせ、研修に対しての気持ちを高めます。疲れた頭と体を癒し、明日の活動にリラックスして臨むために癒される曲を放送します。

★デッキランチ放送

日 時：6月5日 12:00～13:00 (60分)

内 容：デッキランチにて、皆様から頂いたリクエストの中から適切な曲を選び放送します。その後、2人1組でDJブースに来てもらい、リクエストについてインタビューします。

★最終回放送

日 時：6月10日 7:15～8:45 (90分)

内 容：各委員会から最後の挨拶をし、最後の締めくくりの放送をします。乗船前の思いや意気込みを聞き、現在の心の状態と比較し、自分がどのように変わったのか認識してもらいます。最後に全ての船内放送を振り返ります。

【船長主催ウェルカムパーティー】

日 時：6月3日（日）19：15～21：00

場 所：8階メインホール

内 容：船長よりお招きいただき、一般団員・J C団員が一堂に会します。チームメンバーとの絆を深めることで今後の船内生活を充実させると共に、翌日からの活動の英気を養うために是非ご参加ください。パーティーはチーム単位のテーブルで、立食形式で行います。

注意事項：飲食を伴うパーティーですが、船長よりお招きいただいておりますので、社会人として節度ある態度でご参加ください。

パーティー開催中は禁煙とします。

男性はスーツ、ネクタイ、ワイシャツ、革靴を着用。サングラス、帽子・ハットは着用不可。女性はドレスまたはパンツスーツ着用。ワンピースやブラウス、スカートなどにアクセサリを施した装い（服装に応じた靴もご用意ください。船内は揺れますので高いヒールをご用意される方はご注意ください）でお越しください。

【スターツアーズ】

日 時：6月5日（火）22：15～23：00

場 所：10階スポーツデッキ

内 容：周囲に一切の灯りが無い大海原で、普段見ることのできない夜空を見上げ、普段の喧騒から離れ、静寂の中、心身共に英気を養います。

企画委員会より天体や星座について説明を行います。

※雨天時はチームアワーになります。

【クラブ活動】

日 時：6月4日（月）、5日（火）、8日（金）

13：30～15：00

場 所：ぱしふいっくびいなす号 各所

※各クラブによって違います。

内 容：チームメンバー以外とも交流し、心身共にリフレッシュしていただきます。

		クラブ名	開催場所
		内 容	
運動系	①	フットサルクラブ	10階 スポーツデッキ
		屋内用サッカーとして知られるフットサルを屋外デッキで、大海原をバックに楽しもう！女性でも楽しめます。 ※運動靴、タオル、飲料水（水、スポーツドリンクなど）持参	
	②	ドッジビークラブ	8階 メインホール
		柔らかなフリスビーでドッジボールを楽しもう！女性でも楽しめます。 ※運動靴、タオル、飲料水（水、スポーツドリンクなど）持参	
③	ヨガクラブ	7階 ピアノサロン	
	ヨガで心と頭をリフレッシュしよう！ ※タオル、飲料水（水、スポーツドリンクなど）持参		
④	パターゴルフクラブ	7階 メインラウンジ	
	初心者でも無理なく楽しめるパターゴルフでリフレッシュしよう！		
文化系	⑤	映画クラブ	6階 シアタールーム
		研修から離れ映画を見ることでリフレッシュしよう！その後感想文を書き、皆で共有します。	
⑥	リコーダークラブ	7階 オープンバー	
	懐かしい音色に心と体を癒しましょう！クラブで一丸となり、一つの曲を演奏します。 ※スターツアーズにて発表の機会があります。		

文化系	⑦	ハンドベルクラブ	7階 プロムナード
		きれいな音色に心と体を癒しましょう！クラブで一丸となり、一つの曲を演奏します。 ※スターツアーズにて発表の機会があります。	
趣味系	⑧	フォトグラフクラブ	5階 エントランスロビー
		インスタ映えする素敵な写真を撮影しよう！	
	⑨	組紐クラブ	7階 メインラウンジ
		某映画で話題になった組紐造りに挑戦しよう！作った作品はお土産になります。	
	⑩	ペーパークラフトクラブ	7階 メインラウンジ
		紙を使ったプラモデル。君は完成させられるか！	
⑪	びいなす探検隊クラブ	5階 エントランスロビー	
	日本最大級の豪華客船「ぱしふいっくびいなす号」の各所を散策します。また船舶関係者から必須の知識とも言えるロープワークを体験したり、機関士の方から船について学びます。		

結団式にてクラブ希望調査票をお配りし、希望クラブを記載していただきます。人数等の関係で希望に沿うことが出来ない場合もございますのでご了承願います。

乗船前に各所属青年会議所よりクラブ決定の通知をさせていただきますので、通知後準備をよろしくお願い致します。

【フェスティバル】

日 時：6月9日（土）14：45～17：45

場 所：8階メインホール

内 容：8日間という限られた時間のなかで日々各事業に参加し様々なことを経験し、学びを得ます。また、船上という限られた空間の中での共同生活を通じ仲間との絆を深めます。

下船後地域に戻り未来の扉を開く人材となるためには、この「とうかい号」で何を経験し、どれだけ学んだかを整理し検証する必要があります。また仲間と協力し考えることで、仲間の絆を再認識し、「とうかい号」で得た経験、学びの集大成としてテーマに沿って各チーム発表して頂きます。

テーマ：無限の可能性への挑戦

～未来の扉を開く航海（たび）～

<ルール>

★発表時間

- ・各チームの持ち時間を7分とします。
（入場1分、発表5分、退場1分）
- ・上記の時間を超過した場合は減点となります。
- ・他チームの発表を妨害する行為は減点となります。

★備 品

発表で使用可能な備品は以下の通りです。

- ・フェスティバル委員会にて企画委員会より配布した備品
- ・チームジャンパー等の一般団員に統一して配布された備品

★禁止行為

以下の行為はすべて禁止とし、万が一行われた場合、そのチームは失格とします。

- ・使用可能な備品以外の使用
- ・ステージを液体や汚物で意図的に汚す行為
- ・危険を伴う行為（バック転やバック宙、メンバーを担ぎ上げる等の行為）
- ・公序良俗に反する行為
- ・発表者の名誉を傷つける言動（ブーイング、罵声、ヤジ等）
- ・備品や設備を意図的に損傷させる行為

★シナリオシート

- ・発表の内容、時間、曲目、動き等、発表の詳細を記したシナリオシートを第5回フェスティバル委員会の開会前に提出して頂きます。
- ・シートは5枚綴りになっています。企画委員会へ提出用、音響用、P A用、控え2枚の4枚で第5回フェスティバル委員会までに完成させ提出して頂きます。

★チーム役割担当

(音響)

- ・各チーム音響操作の担当者を1名選出して頂きます。
- ・音響操作は使用音楽の再生を行います。
- ・再生した後発表に参加することができます。

(P A)

- ・各チームP A補佐の担当者を1名選出して頂きます。
- ・P A補佐は業者が操作する照明の切り替えと音楽の音量操作に対して指示をして頂きます。

★使用音楽

- ・配布するラジカセで録音を行って頂きます。
- ・録音する媒体は配布する記憶媒体のみとします。
- ・完成した音源を第5回フェスティバル委員会に提出して頂きます。
- ・配布する記憶媒体以外での提出は受け付けません。
- ・録音する音源は企画委員会が用意した音源以外は認められません。

★採点

- ・各審査員が配布する採点シートの各採点項目を元に審査いたします。
- ・各チームの発表を採点し、合計点の高さを競います。

★表彰

採点の結果合計点が高い上位5チームを表彰します。
各プレゼンターより表彰して頂きます。

1位 優勝 (プレゼンター 団長)

2位 準優勝 (プレゼンター 本部長)

3位 講師団特別賞 (プレゼンター 講師)

4位 ぱしふいっくびいなす賞 (プレゼンター 船長)

5位 東海地区特別賞 (プレゼンター 三重ブロック会長)

※表彰は5位から発表します。

★フェスティバル委員会

- ・各チームからフェスティバル委員を2名（男女1名ずつ）選出して頂き、チームアワー内で行うフェスティバル委員会に出席して頂きます。
- ・体調不良等で出席できない場合はチームから代理出席をお願いします。
- ・チームアワーの時間帯にフェスティバル委員に集まって頂き、申し送り事項や質問、練習の経過報告や打ち合わせを行い、チームにフィードバックして頂きます。

★フェスティバル委員会スケジュール

- ① 日 時：6月3日（日）
21：30～22：30（チームアワー2）
場 所：6階シアタールーム
出席者：フェスティバル委員2名
内 容：概要、テーマ、ルール説明、備品の配布、質疑応答
- ② 日 時：6月5日（火）
18：15～18：45（チームアワー8）
場 所：8階メインホール
出席者：フェスティバル委員2名、音響1名、PA補佐1名
内 容：音響、照明の説明、質疑応答
- ③ 日 時：6月6日（水）
22：15～22：45（チームアワー10）
場 所：6階シアタールーム
出席者：フェスティバル委員2名
内 容：リハーサル発表順の抽選、質疑応答
- ④ 日 時：6月7日（木）
21：00～22：00（チームアワー14）
場 所：6階シアタールーム
出席者：フェスティバル委員2名
内 容：未使用の備品の回収、再配布の説明、順番抽選、質疑応答
- ⑤ 日 時：6月8日（金）
15：30～16：30（チームアワー17）
場 所：6階シアタールーム
出席者：フェスティバル委員2名
内 容：使用音源とシナリオシートの提出、未使用備品の回収、質疑応答

<リハーサル>

日時：6月8日（金）17：30～21：15

- ・第3回フェスティバル委員会において、抽選で決定した順番でリハーサルを行います。
- ・メインホールの入室から退室まで持ち時間は12分とします。
- ・本番で使用する備品の持ち込みは不可とします。
- ・残り時間5分、3分、1分のアナウンスをしますので、時間厳守をお願いします。
- ・リハーサルはフォーマルディナーと交錯するため、前半のフォーマルディナー8チームがリハーサル後半に、後半のフォーマルディナー8チームがリハーサル前半に出席して頂きます。前後半の8チームずつの順番はくじ引きで決めます。
- ・船内放送で各チームをリハーサル順に呼び出しますので、速やかにメインホールに移動してください。
- ・チーム付き企画委員からも案内しますが、移動時間を考慮してリハーサル開始時間に遅刻をしないようお願いします。
- ・開始時間を遅刻された場合は、リハーサル時間を短縮します。

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

寄港地での活動

6

国際交流委員会からのご案内



国際交流委員会からのご案内

国際交流委員長 山本 哲也



1 全体注意事項／禁止事項／移動時の注意事項

【全体注意事項】

- ①安全に楽しく寄港地活動ができるように、ハンドブック、配布資料を熟読してください。
- ②常に相手や文化に対して理解する気持ちを持ち、それを敬う気持ちで行動してください。
- ③寄港地活動では、チームリーダー、サブリーダー、担当役員、担当国際交流委員会メンバーの指示に従ってください。
- ④トラブルが発生した場合、速やかにチームリーダーを通じて国際交流委員会メンバーに連絡してください。
- ⑤社会人、日本人としてのマナー、エチケットを守り、責任ある行動を心掛けてください。
- ⑥集合時間は必ず守り、5分前行動を心掛けてください。
- ⑦6月初旬の台中市の気候は、とても暑い為（30℃位）ですが、体調管理に十分注意して下さい。寄港地活動中はしっかりと水分を摂るようにしてください。
- ⑧寄港地活動前は睡眠をしっかりと取り、体調を整えておくようお願いします。
- ⑨雨天時でも寄港地活動をおこないます。必要な場合、カップを配布しますが、タオル等は各自でご準備ください。
- ⑩台中市内は車やバイクなど交通量が非常に多く、歩行するには十分注意してください。
- ⑪船内活動の疲れや慣れない環境での生活で、体調を崩し易くなっていますので、バスに乗る前酔い止めを服用することをお勧めします。

【全体禁止事項】

- ①単独行動の禁止
常に団体行動を意識し研修であること、外国であることを忘れないでください。
- ②寄港地活動中は禁酒、原則禁煙です。
法改正により建物内はすべて禁煙で罰金に処される場合があります。
- ③ゴミのポイ捨て禁止
所定の場所か、バスもしくは船に持ち帰ってください。
社会人、日本人としてのマナー、責任ある行動を心掛けてください。
- ④不謹慎、横着な行為の禁止
常に社会人、日本人として責任と節度ある行動をしてください。相手を理解すること、そして相手を敬い尊重する気持ちで接してください。

【移動時の注意事項】

- ①チームリーダーとサブリーダーを中心に移動して頂くようお願いします。
- ②寄港地活動は長時間歩きますので、運動靴での参加をお願いします。
- ③紫外線対策として必要なものや（日焼け止め、帽子）、雨の場合のタオル等は各自で用意をお願いします。
- ④貴重品（財布等）はサブリーダーが回収し、チーム付する国際交流委員会メンバーが管理、保管をお願いします。
- ⑤飲料水を用意いたしますので、こまめに水分補給を行うようにしてください。
- ⑥バスでの移動中トイレ休憩は取りません。どうしてもトイレを我慢できない方は車内で簡易トイレにて対応して頂きます。台中の交通事情は悪く、想定よりも移動に時間を要する場合がありますので、バスでの移動前には必ずお手洗いを済ませるようにしてください。
- ⑦体調が悪いという方はチーム付きの生活委員会メンバーまで遠慮なく申し出てください。
- ⑧寄港地活動中は禁煙となっております。
- ⑨ゴミはバスの中に用意してあるゴミ袋に捨ててください。

2 寄港地事業・活動スケジュール

【寄港地事業前日】

◆寄港地オリエンテーション

開催日時：2018年6月6日（水）

9:30～10:45

開催場所：ぱしふいっくびいなす船内 8Fメインホール

内容：事前に寄港地活動・事業の目的内容を学ぶことで、寄港地への理解を深め、台中青年との効果を高めることを目的とします。

- ・映像上映
- ・寄港地での活動について事業概要並びに注意事項の説明
- ・郡上踊り説明

【寄港地事業当日】

◆寄港地事業

開催日時：2018年6月6日（水）

14：00～17：30

開催場所：台中市内

内 容：現地青年たちと他国の思考や文化を知ること
で国家観を養い、自国や自らが住み暮らす地
域に愛着と誇りを持った人材へと成長するこ
とを目的とします。

・郡上踊り

郡上踊りは約400年の歴史があり、日本三大盆踊り「秋田の西馬音内盆踊り」「徳島県の阿波踊り」の一つに数えられています。また、「見るおどり」ではなく「踊るおどり」と言われており観光客も地元の人もひとつ輪になって踊ります。踊りも難しくなく、見よう見まねで踊ってもすぐ踊れるようになります。

日本の文化を知っていただくにあたり、盆踊りは日本の文化を代表する行事でもあり、その中でも日本を代表する盆踊りである郡上踊りが、私たちが住み暮らす東海地区に存在します。私たち日本の文化を知ってもらうため、また、もともと、盆踊りは村社会では結束を強める機能的役割を果たした背景もあり、交流において、一つの輪で踊ることで日本人と台湾人の心をひとつにし、結束を強めるのに最適です。

◆寄港地活動

開催日時：2018年6月7日（木）

08：30～14：00

開催場所：台中市内

内 容：先人たちが台湾に残した日本の心や挑戦心に
触れ、国家観を養い、自国や自らが住み暮ら
す地域に愛着と誇りを持った人材へと成長す
ることを目的とします。

●宝覚寺

●台中刑務所演武場

●台中公園

◆寄港地パーティー

開催日時：2018年6月6日（水）

18:00～20:30

開催場所：葳格国際会議中心

内 容：現地の人に対し感謝の心を持って現地の人や文化に触れ国際感覚を養うことを目的とする。

・ 団長挨拶・来賓挨拶

※台中の来賓の方に参加して頂きます。

※現地でお出迎え頂いた各地青年会議所メンバーにも参加して頂きます。

・ 食事、歓談

※寄港地事業に引き続き、台中青年にも参加して頂きます。

※壇上での集合写真

寄港地事業を通じて交流を深めた台中青年と、一般団員、JC 団員が食事やお酒を共にしつつ、リラックスした雰囲気の中で語り合うことで、相互の交流関係を深めます。

※20時半の閉会后、21時には退店完了しなければならないため、速やかにチームごとで移動してください。

3 寄港地活動時の服装・持ち物

帽子 (とうかい号支給品)

チームジャンパー (とうかい号支給品)

ネームプレート (とうかい号支給品)

運動靴 ※台中市内を歩きますので、必ず動きやすい靴を着用してください。

飲み物 ※下船時に配布する1人1本のペットボトル飲料を必ず持って降りてください。

タオル ※紫外線と暑さ対策として、タオルをご持参ください。

服装 ※長い距離を歩きますので涼しいズボンの着用をお勧めします。

(任意) 日焼け止め、サングラス、着替え

4 寄港地での注意事項

【台中港】

- ・チームリーダーとサブリーダーを中心に移動して頂くようお願いします。
- ・移動は速やかにお願いします。

【台中科技大学】

- ・チームリーダーとサブリーダーを中心に移動して頂くようお願いします。
- ・大学内は一般学生が授業を行っている為、私語を慎み速やかに移動お願いします。

【台中公園・宝覺寺・台中刑務所演武場】

- ・チームリーダーとサブリーダーを中心に移動して頂くようお願いします。
- ・寄港地活動ではかなりの長時間歩きます。運動靴での参加をお願いします。
- ・紫外線対策と雨対策として必要なものを（日焼け止め、帽子、タオル、カップ等）各自で用意をお願いします。
- ・貴重品はサブリーダーが回収し、チーム付する国際交流委員会メンバーが管理、保管をお願いします。
- ・体調が悪いという方はチーム付きの生活委員会メンバーまで遠慮なく申し出てください。
- ・寄港地活動中は禁煙となっております。
- ・ゴミはバスの中に用意してあるゴミ袋に捨ててください。

【葳格国際会議中心】

- ・チームリーダーとサブリーダーを中心に移動していただくようお願いします。
- ・パーティー中は勝手に歩き周らないようアナウンスを致しますが、チームリーダーをはじめチーム付きのメンバーの指示に従ってください。

- ・ 葳格国際会議中心付近は車の往来が激しいため、注意をお願いします。特に帰りはアルコールを摂取していることが考えられるため、安全面には細心の注意を払い行動してください。
- ・ 場内は全面禁煙のため喫煙はご遠慮ください。
- ・ 屋外での喫煙も禁止しています。

5 緊急時電話番号一覧

- 部長 下田 硬範 (しもだ かたのり)
090-7025-4799 (+8190-7025-4799)
- 委員長 山本 哲也 (やまもと てつや)
090-3968-7468 (+8190-3968-7468)
- 総括幹事 吉村 裕輝 (よしむら ゆうき)
090-4863-5534 (+8190-4863-5534)
※現地では、カッコ内の番号をプッシュして下さい。

- 警察等
台中港務警察總隊 TEL: 04-26562394
台中港務消防隊第一分隊 TEL: 04-26576142

※日本語対応ではありません。

6 台湾について

- 面積：2,215 km²
人口：2,788,828人（2018年現在）
首都：台北市
民族構成：漢民族96.7%、台湾原住民が残りの2.3%を占める
- 言語：中国語（北京語）
宗教：主な宗教は仏教、道教
総統：蔡 英文
- 気候：台湾はほぼ中央部（嘉義県付近）を北回帰線が通っており、北部が亜熱帯、南部が熱帯に属している。そのため、北部は夏季を除けば比較的気温が低いのにに対し、南部は冬季を除けば気温が30度（摂氏）を超えることが多くなっている。台湾の夏はおおよそ5月から9月までで、通常は蒸し暑く、日中の気温は27度から35度まで上り、7月の平均気温は28度である。冬は12月から2月までと期間が短く、気温は総じて温暖であり、1月の平均気温は14度である。ただし、山岳部の高標高地帯では積雪が観測されることもある（玉山（台湾）の山頂は寒帯のツンドラ気候に該当する）。
平均降雨量は年間およそ2,515mmであり、雨期に多く、また降雨量は季節、位置、標高によって大きく異なっている。台湾は台風の襲来が多く、毎年平均3-4個の台風襲来に襲われている。台風で給水の大きな部分を賄っているが、同時に損壊、洪水、土砂流などの災害も発生している。1996年の台風9号や2009年の台風8号などは、豪雨をもたらした。また、台風以外にも、夏季には台湾語「サイパツホー (sāi-bak-hō)」と呼ばれる猛烈な夕立が多い。
- 時差：1時間（日本時間マイナス1時間）
通貨：ニュー台湾ドル
概要：かつては「フォルモサ」（ポルトガル語：Formosa, 「麗しの島」）として知られた台湾島は、漢民族が同島に移住し始めた17世紀における大航海時代のオランダ及びスペインの植民まで、台湾原住民が主に居住していた。

1662年、明寄りの支持者である鄭成功はオランダを追放し、同島初の漢民族の政治的実体である東寧王国を設立した。清は後に同王国を破り、台湾を併合した。1895年に日清戦争の結果下関条約にて台湾が日本に割譲されるまでは、台湾の居住者の大多数は漢民族であるか、漢民族に同化された台湾原住民であった。現在のDNAの調査によれば、8割が南方アジア系である。1912年、中華民国が中国に設立された。1945年における日本の降伏後、中華民国は台湾の統治を引き継いだ。国共内戦後、中国共産党は中国大陸を完全に支配し、1949年には中華人民共和国を設立した。中華民国は政府を台湾へと移転し、同国の法域は台湾及びその周囲の諸島に限定された。1971年、中華民国が当初占有していた国際連合での中国の議席を中華人民共和国が継承した。多くの国が中華人民共和国へと国際的承認を切り替えるにつれ、中華民国の承認は次第に失われてきた。現在国連加盟21箇国及び聖座のみが中華民国と公式の外交を有するが、他の多くの国家とは駐在員事務所経由で非公式な関係を有する。そのため、多くは公式に台湾を中華人民共和国台湾省また台湾地域と表記している。憲法上、中国大陸及び外蒙古を含む定義における「中国」全てを主権国家として政府が主張するかどうかに関して論争が存在するが、1992年以来、中華民国は中国大陸を取り戻すことを政治的目標にはしていない。しかし、政党の連立に大いに依存する中国との関係の政治姿勢を定義する政府の立場は責任を負っている。一方、中華人民共和国は自らを中国唯一の合法的な代表であると強く主張し、主権国家としての中華民国の地位及び存在を否定し、台湾を中華人民共和国統治権下の台湾省として主張する。中華人民共和国は台湾独立のいかなる公式な宣言への反応として軍事力を行使すると脅迫し、平和的な再統一はもはや不可能であると考えている。中華民国におけるナショナル・アイデンティティの問題だけでなく兩岸関係も台湾の政治において重要な要因であり、政党及び各政党支持者間の社会的及び政治的区分の原因となっている。

20 世紀後半に台湾は急速な経済成長及び工業化を経験し、現在では先進国である。1980 年代及び 1990 年代初頭、普通選挙で複数政党制民主主義に発達した。台湾はアジア四小龍の一角であり、WTO 及び APEC 加盟地域である。世界第 21 位の経済規模を有し、世界経済においてハイテク産業は重要な役割を担っている。台湾は言論の自由、報道の自由、医療、公教育、経済的自由、男女平等、人間開発の観点から上位に順位付けされている。世界で最も総合的な報告書のひとつである「Expatriate Insider 2017」によると、外国人から最もクオリティ・オブ・ライフ（生活の質、英：quality of life、QOL）が高いと判断された国では、台湾が世界 2 位であった。国連（UN）と米コロンビア大学の「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）」と同大学地球研究所が発表した最新の「世界幸福度報告書 2018」で、台湾は世界 156 カ国中、世界 26 位に入り（昨年の世界 33 位から 7 つ順位上昇した）、アジアでは首位となった。報告書の幸福度ランキングは 2012 年に開始され、今回で 6 回目となる。156 カ国を対象に、1 人当たりの国内総生産（GDP）や健康寿命、困難時に信頼できる人がいるかどうか（社会的支援）、人生の選択の自由、寛容さ（寄付の広がり）、政府や企業における汚職からの自由度などを手掛かりに幸福度を調査。

7 その他国際交流委員会担当事業

◆ 団長主催さよならパーティー

開催日時：6月9日（土）

19：20～21：20

開催場所：ぱしふいっくびいなす船内 8F メインホール
内 容：一般団員がお世話になった方々へこれまでの活動への感謝を伝え、培った友情を深める事を目的とします。

- ・ 団長、本部長、ぱしふいっくびいなす船長挨拶
- ・ 第45回 J C 青年の船「とうかい号」映像鑑賞
- ・ ありがとうタイム
- ・ 感謝の言葉、記念品贈呈
- ・ テーマソング合唱

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

乗船にあたっての準備 **7**

乗船にあたっての準備
客室見取り図及び使用可能な備品
所持品リスト



乗船にあたっての準備

生活委員長 渡邊 龍平



生活委員会では、8日間の慣れない洋上生活でより多くの学びから気づきを得て頂くために、各委員会と連携を図りながら、健康と安全の管理また、風紀や規律の維持をすることで船内の秩序を保たせて頂き、皆様の生活を支えます。全団員の健康と安全に最大限の配慮をさせて頂くことで、最良の生活環境をつくる事をお約束致します。

軽微な怪我や病気などの身体的な部分の体調不良の緩和や初めて出会う仲間との様々な人間関係での不安な気持ちを解消して頂くために、24時間体制での支援を整えておりますので、どうぞご安心ください。

下船後、皆様が企業や地域で活躍できる人財となって頂けるよう、有意義な研修船にしていくためにこの「3つの誓い」をご提案致します。

第45回 J C 青年の船「とうかい号」3つの誓い

- 一、私たちは、自覚と責任ある行動をします。
- 一、私たちは、思いやりと感謝の気持ちを大切にします。
- 一、私たちは、何事にも積極的に挑戦します。

この3つの誓いを「とうかい号」の基本方針として行動して頂きますよう、皆様のご協力をお願いします。

将来に希望を持って研修、企画、寄港地活動など何事にも積極的に参加し自己研鑽に努め、国や地域に誇りを抱き、最高の仲間と最高の「とうかい号」にして頂ければと思います。

それでは、生活委員会からの具体的な案内をお伝え致します。

1. 心構え

①「とうかい号」は研修船です

第45回J C青年の船「とうかい号」では、前頁にある「3つの誓い」を航海中における皆様の基本方針として頂きたいと思えます。今回の航海が皆様にとって有意義に、また一生の思い出になるように「3つの誓い」を航海中において、常に「心」に留めておいて下さい。

②自分を大切に

せっかくの乗船の機会を最大限生かすよう、まずは自分を大切にし、どんな時もどんな事も前向きに考え、積極的に勇氣を持って挑戦して行って下さい。

③仲間を大切に

8日間を共に過ごす仲間です。思いやりの心を持ち、誰にでも笑顔で挨拶をしましょう。同時にお互いを尊重し、礼節を持って接しましょう。きっと素晴らしい友情の輪が生まれ、一生の友と出逢えることでしょう。

④ルールを大切に

先ほども述べましたが、「とうかい号」は研修船です。団体行動の規律を保つためにも、決められた時間を守ることが重要です。特に起床、消灯時間を厳守し、健康な生活が送れるよう心掛けましょう。消灯時間以降は、各部屋からの外出は禁止します。スタッフに氷や水など依頼することも禁じます。また、各自の部屋を空ける時は必ずドアに鍵をかけ、貴重品は各自で責任を持って管理しましょう。食事中の飲酒、喫煙、部屋での飲酒は慎みましょう。

⑤エチケット、マナーを大切に

集団生活において全員が快適な生活を送るために、エチケットはとても大切です。常に身の回りの整理整頓を心掛け、清潔な生活を心掛けましょう。また、タバコ（※電子タバコも含む）は指定された場所で吸って下さい。ぱしふいっくびいなすは全室禁煙となっております。客室での喫煙は絶対にしないようにして下さい。他人に迷惑をかけないように、いつも相手の立場になって考えて行動して下さい。

また「朝の集い」時には国歌斉唱がありますので、以下の事を必ず守って下さい。

- 1) 起立し姿勢を正し、国旗に注目すること。
- 2) 脱帽すること。
- 3) 首にタオルをさげることや頭部にタオルを巻くことがないこと。
- 4) 各自チームユニフォーム、委員会別ユニフォームを着用すること。
- 5) ユニフォームを腰に巻くことがないこと。
- 6) サングラスは外すこと。
- 7) マスクは外すこと。
- 8) 両手は体側に揃えること。

⑥健康を大切に

毎日の自分自身の健康状態をきちんと把握し、無理のない生活を送りましょう。酔い止め、頭痛薬、整腸剤、下痢止め、胃腸薬、風邪薬等必要と思われる内服薬類などは各自必ず持参して下さい。持病をお持ちの方は持病に関連する薬や器具をご用意ください。また、船内では空調で空気が乾燥するため、マスクやうがい薬、のど飴などもご持参下さい。寄港地台中では暑さから熱中症が予想されます。熱中症予防のための準備（帽子や冷却シート、予防グッズなど）もご持参をお願いします。万が一、事故、怪我、病気などが起こった時は、チームリーダーを通じて生活委員会に速やかに連絡して下さい。

⑦安全を大切に

船という特殊な環境ですので、安全の確保は特に重要です。チームリーダーや乗船員の指示に従い、以下の事項を厳守して下さい。

- ・危険物の持ち込みは厳禁とします。
- ・火の元には特に注意して下さい。
全室禁煙、タバコ（※電子タバコを含む）は6階のスモーカーキングルーム場所以外は厳禁とします。
- ・夜間及び悪天候時には、デッキへの出入りは禁止とします。
- ・暴力行為は厳禁とします。

2. 船内生活の案内

①船室

室内にはシャワールーム、トイレ、エアコン、洗面台、小型金庫が完備されています。設備、備品の故障や不備については、5階フロントへ申し出て下さい。

室内に部屋メンバーがいる時には鍵をかけないで下さい。鍵をかけるのは全員が留守になる場合のみとして下さい。

なお、全団員において異性の部屋への出入りは禁止とさせていただきます。

②船内フロント

船内フロント（5階）は船側と乗船者との窓口であり、船内サービスに関する全ての問い合わせに応じています。24時間OPENしております。24時以降は1名による当直対応となります。

③電報電話サービス

航海中は、船の無線電報局を通じて陸上との交信が絶えず行われているので、電報の受発信が可能です。ただし、停泊中の受発信はできません。取り扱いは事務局で行っています。緊急時のみ取り扱いをさせていただきます。

④ショップ

ショップは7階左舷にあります。免税品、乗船記念品が販売しております。

通常営業時間 08:00～14:00

16:00～21:30

(終日航海中の場合)

⑤ランドリーサービス

5階フロントにて有料で受け付けます。

午前中にお預かりの物は、翌日14:00以降のお渡しになります。

⑥ランドリー（洗濯室）

5階及び6階の中央後方右舷側に無料ランドリーがあります。洗濯機、乾燥機、アイロン、洗剤等が設置されています。船では真水が貴重です。無駄のないよう注意して洗濯して下さい。一般乗船者の方は、他の階のランドリーの使用は禁止とします。

(5階ランドリー)

洗濯機9台、乾燥機8台、アイロン2台

(6階ランドリー)

洗濯機11台、乾燥機10台、アイロン2台

⑦体調がすぐれない時

具合の悪い方は必ずチームリーダー（居ない場合はサブリーダー）を通じて生活委員会に申し出て下さい。診察の手配を致します。

通常診療時間 09:00～11:00

16:00～18:00

(終日航海日の場合)

⑧シャワー

各船室にはシャワールームがあり、常時使用できます。バスタオル、フェイスタオルは、1日1回交換して頂きます。

⑨貴重品の管理

各船室内には小型金庫が備えてあります。金庫を利用して頂き、各自で貴重品の管理を行って下さい。

3. 船内での注意事項

【一般留意事項】

- ①乗船中は、名札を必ず着用して下さい。
- ②船内では、走らないようお願いします。
- ③濡れた場所は滑りやすくなっておりますので、歩行に気を付けて下さい。雨天の場合は、特に注意して下さい。
- ④階段では、手すりを利用するなど昇降に注意して下さい。
- ⑤ハイヒールなど歩行しにくい履物を使用しないで下さい。サンダル、スリッパなど、踵の無いものは禁止とします。
- ⑥甲板の手すりから身を乗り出さないようお願いします。
- ⑦全室禁煙となっております。必ず6階スモークコーナーにて喫煙して頂きますようお願い致します。また点火したタバコやマッチ類は、海や甲板、通路などに捨てることのないようにして下さい。
- ⑧立ち入り禁止区域及び夜間点灯していない場所には、入らないようお願いします。
- ⑨各所にある諸機械やバルブなどには、絶対に手を触れないようお願いします。
- ⑩ゴミを船外に捨てないようにお願いします。

【停泊中の留意事項】

- ①乗組員作業中はロープ等が散乱して危険なため、作業場所には近寄らないで下さい。
- ②ブリッジ、機関室、船首及び船尾付近は乗組員の作業場のため、近寄らないで下さい。

【航海中の留意事項】

- ①ドアでの指つめ等に十分注意して下さい。船の動揺によってドアが急に閉まって思わぬケガをすることがあります。
- ②悪天候により船体の動揺が激しい場合は、次の事にご留意下さい。
 - みだりに甲板上に出ないようお願いします。
 - 歩行の際は、各所に取り付けてある手すりなどにつかまって下さい。
 - テーブル上の携行品などが落下し破損しないよう注意して下さい。

- ③他の船との衝突防止のため、夜間カーテンを閉めてある場所は絶対に開けないで下さい。
- ④7階オープンバーでの飲食、飲酒は禁止します。

【緊急避難訓練】

乗船後すぐに避難訓練を実施しますので、乗組員の方やJ C団員の指示をしっかりと聞き、取り組んでください。

【安全・火災予防】

- ①船では火災が最も怖い事項です。火の始末を確実にすることを守り、また喫煙は6階スモークコーナー以外では絶対にしないようにして下さい。
- ②火災原因となるような電気器具（電熱器、湯沸器等）は持ち込みを禁止します。
（船室の電気は100V、60Hzが供給されています。）
- ③名古屋港出入港日及び寄港地での乗下船時には、船内保安及び安全上、部外者との判別のため名札を必ず着用して下さい。

なお、生活委員会は、船内での生活全般を受け持っております。何か困ったことなどがありましたら、いつでもお気軽に近くの生活委員会メンバーに相談して頂くか、生活委員会ルーム（7階：ダイニングサロン）にお越し下さい。また、船内の安全確保のため24時間体制でパトロールを行うとともに、各チームとも連絡を密にしていきたいと思っております。皆さんの生活応援団となるよう尽力して参りますので、ご理解、ご協力をこの場を借りてお願い致します。

4. 出航までの準備

①寄港地への心構え

寄港地活動を行う台中の歴史、文化、経済について事前に目を通し、最新の情勢について把握するように努めて下さい。

②健康管理

日常とは異なる船内での団体生活であり、時間で区切られた忙しい毎日です。乗船に備え、出航までに体調を整え、健康体で出発できるよう自己管理をして下さい。

③服装及び所持品

活動時の服装は基本自由ですが、なるべく活動しやすい服装をお願いします。靴は運動靴・スニーカー等が望ましく、船室外では、事故防止のため踵を固定しないサンダル・スリッパは禁止とします。厚底の靴も転倒の危険があるため禁止とします。また、船内では冷房が完備されていますので、その対策も考えて衣服を準備して下さい。

洗濯室はありますが、念のため7日分の下着等を準備することをお勧めします。なお、研修が目的ですので、華美、豪華なものは必要ありません。

なお、船長主催歓迎会、フォーマルディナー、団長主催さよなら晩餐会には、男性はスーツ、女性はそれに準じたドレス等（スーツも可）の服装をお願いします。

5. 客室見取図及び使用可能な備品



【備品】

金庫、TV、湯沸し器、折り畳みヘアブラシ、シェービング、
歯磨きセット、シャワーキャップ、固形石鹸、綿棒、靴べら、
ブラシ、ティーパック、ゴミ箱、カップ（陶器）、コップ（ガラス）、
シャンプー・リンス、ティッシュ、ドライヤー

6. 所持品リスト

- スーツ・ブレザー 1着 (男性)
- ワイシャツ 1～3着 (男性)
- ネクタイ 1～2本 (男性)
- 革靴 1足 (男性)
- 男性のスーツに準じたドレス等 (スーツも可) (女性)
- 上記服装に合う靴 (女性) ※踵の高くないもの
- 普段着・ポロシャツ類 8着以上
- パジャマ
- 財布 (貴重品は自己管理して下さい)
- 腕時計 (貴重品は自己管理して下さい)
- 筆記用具
- 名刺
- 洗剤
- 洗濯ロープ
- 洗濯バサミ
- 下着類・靴下 8枚以上
- 帽子 (キャップ等)
- 運動靴・スニーカー・踵の固定できる履物 (踵固定付きクロックス等)
- 洗面用具 (コンタクト用品)
- ハンドブック (本誌)
- 雨具 (傘・レインコート)
- リュック等
- 座布団・クッション ※研修中は床に座ります。

絶対に必要な医薬品

- 常備薬 (自分にあったもの)
- 酔い止め薬 ※8日分以上の数を必ずご用意下さい
- 風邪薬
- 頭痛薬
- 胃薬
- 整腸剤
- 下痢止め
- 便秘がちの方は下剤
- うがい薬やのど飴 (船内はエアコンで乾燥するため)
- マスク (風邪、感染症の予防)
- 冷却シート、熱中症予防グッズ
※乗船期間は気温も高いことが予想される為、必ず用意して下さい
- 生理用品
- 絆創膏
- 持病に関するもの (コルセット等)

あれば便利なもの

- ビニール袋
- 手鏡
- サングラス (洋上は日差しも強いですが、船酔い軽減にもなります)
- 日焼け止めクリーム
- ポケットティッシュ
- ウェットティッシュ
- 目覚まし時計
- 裁縫用具
- 小物入れ
- スリッパ (室内用)
- 住所録
- カーディガン等の羽織るもの (船内はエアコンがかかっているため)
- 3穴コンセント付き延長コード
- 爪切り
- 耳栓
- 目薬

無限の可能性への挑戦
～未来の扉を開く航海（たび）～

その他 | 8

デッキプラン
テーマソング

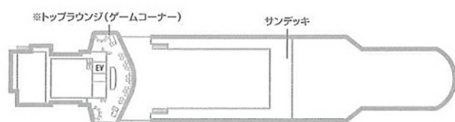


デッキプラン

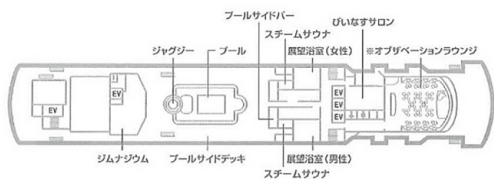
【データ】

総トン数:26594トン 全長:183.4m 幅25.0m 喫水:6.5m
 巡航速度:18.5ノット 乗客数:620名

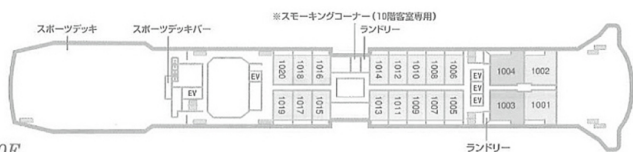
12F

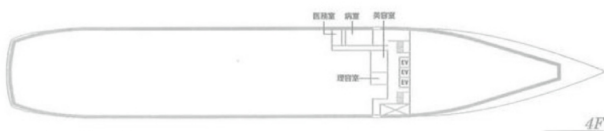
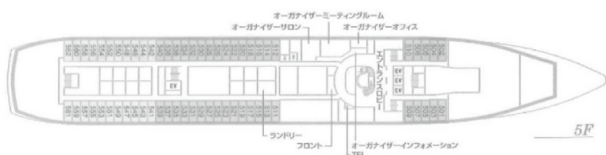
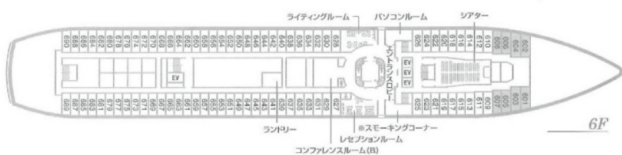
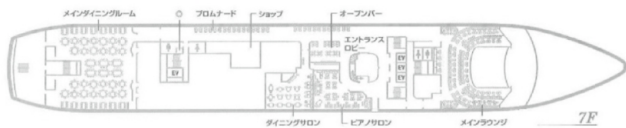
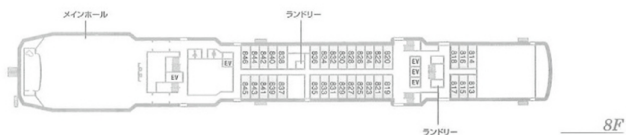
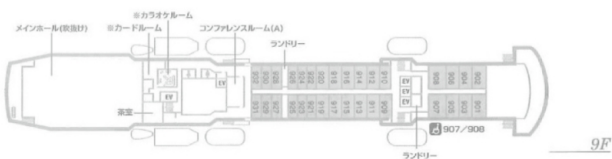


11F



10F





注) ※印の場所では取換可能です。
○印は車椅子をご利用の方のためのトイレです。

テーマソング

HERO

安室 奈美恵

MEMO

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

MEMO

A series of horizontal dotted lines providing a template for writing a memo.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing the memo content.

下船後の予定

45船の集い
2018年8月19日(日)

乗船に関するお問合せ先

【担当】 第45回 J C 青年の船「とうかい号」事務局
総務次長 佐藤 治彦

TEL : 0594-82-5981

FAX : 0594-82-5982

E-mail : 45tokaigo@gmail.com

第45回 J C 青年の船「とうかい号」 HandBook I

2018年4月29日発行

発行 公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会
第45回 J C 青年の船「とうかい号」
団 長 細野 勝雅

編集 公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会
第45回 J C 青年の船「とうかい号」
本部長 林 謙介
事務局長 近藤 治隆

第45回 J C 青年の船「とうかい号」事務局

所在地 : 〒511-0023 三重県桑名市本町46
春日神社会館3階

TEL : 0594-82-5981

FAX : 0594-82-5982

E-mail : 45tokaigo@gmail.com

Tokaigo The 45 th
JC YOUTH VOYAGE



チーム・
委員会名

氏 名

キャビン
番 号

ブロック

LOM

主催／公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会
主管／公益社団法人日本青年会議所 東海地区 三重ブロック協議会

<http://www.tokaigo.com>

H
A
N
D
B
O
O
K
1

無限の可能性への挑戦

～未来の扉を開く航海（たび）～



第45回JC青年の船 『とうかい号』

HAND BOOK 1



無限の可能性への挑戦

～未来の扉を開く航海（たび）～



Tokaigo The 45 th JC YOUTH VOYAGE